KL-HD1

取扱説明書

保証書付

JA

準備編

おためし印刷編

ラベル作成編

入力･編集編

設定編

付録

本機に対応するテープ幅



ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

M01910-B

© 2015 CASIO COMPUTER CO., LTD.

CASIO

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。
なお、本書中には、以下の用語の ® マークを明記していません。
・「eneloop」は、パナソニックグループの登録商標です。
・「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

あらかじめご承知いただきたいこと

■本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらご連絡ください。
■本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
■故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
■本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
■本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
■本文中の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収 / 分解し、再資源化しております。
使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

目次

安全上のご注意……4
ご使用上の注意……9

準備編……10
付属品を確認しましょう……10
各部の名前とはたらき……11
本機の操作の流れ……12
電源について……13
電池をセットする……13
はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！……16
電源を入れる・切る……17
テープカートリッジを取り付ける / 取り外す……18
キーのはたらき……22
画面について……26
印刷する文章の作り方について……27

おためし印刷編……28
まずは作ってみましょう……28
ラベルを印刷する……28
カットマークについて……31
テープを空送りする……32
テープをカットする……32
ラベルを貼る……33
終了する……34
文字の入力について……34
印刷時の注意事項……35

ラベル作成編 ……36
ラベル作成の流れ……36
フォーマットを選んで作る（用途別ラベル）……37
通し番号のついたラベルを作る（ナンバリング）……41
ロゴ入りのラベルを印刷する（デザインロゴ）……45
フリーラベル
自由に入力して作る（フリーラベル）……48
2行以上のラベルを作る……49
ラベルの書式を決める……51
ラベルの長さを自由に決める……55
文章のバランスを整える（割付）……57
文字の大きさを決める……59
フレームを付ける……63
縦書きのラベルを作る……65
作成したデータを登録する・呼び出す……67
入力・編集編 ……70
カーソルのはたらきと動かし方……70
入力する文字の切り替え方法……71
ひらがな・カタカナの入力……71
アルファベット（大文字・小文字）の入力……71
ひらがな・カタカナの入力……72
ひらがなの入力……72
カタカナの入力……73
いろいろな文字の入力方法……74
漢字の入力……75
文章を入力してから変換する……75
同音異義語を変換する……77
漢字1文字ずつ変換する（単漢字変換）……78
アルファベット・数字・記号・絵文字の入力……80
文字を修正・削除するときは……83
書体（フォント）を変える……87

文字を目立たせる……91
文字に飾りをつける……93

設定編 ……94

設定を変える……94
設定できる項目 ……94
テープ幅を設定する ……95
画面の明るさを変えたい ……95
印刷の濃さを変えたい ……96
ラベルをカットする目印（カットマーク）の設定をする 96
電池の設定をする ……97

付　録 ……98

お手入れの方法……98
綿棒できれいにする ……98
クリーニングテープを使う ……99
こんなときは（トラブルシューティング）…… 100
エラーメッセージ一覧…… 103
かなめくり入力一覧…… 106
英字めくり入力一覧…… 108
記号・絵文字一覧…… 110
フレーム一覧…… 116
用途別ラベルフォーマット一覧…… 118
ナンバリングフォーマット一覧…… 123
テープ幅と行数・倍率一覧…… 124
各機能における使用可能テープ幅一覧…… 124
デザインロゴ一覧…… 125
仕様…… 129
別売品について…… 131
索引…… 132
保証・アフターサービスについて…… 135
アフターサービス窓口について…… 136

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。

⚠ **警告**	死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠ **注意**	軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。



△記号は、「注意すること」を意味しています（左の例は高温注意）。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 警告

電池

電池から漏れた液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流す。

目に入った場合は、失明などの恐れがあります。洗い流した後、すぐに医師の診察を受けてください。

⚠ 警告

置き場所・使用場所

次のような場所に置かない、使わない。
火災・感電の原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所
- 台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

ぐらついた台の上や高い棚の上など､不安定な場所に置かない。
落下・転倒時には、けがの原因となります。

本機の上に重いものを置かない。
落下・転倒時には、けがの原因となります。

異常（煙、臭い、発熱など）

発煙・異臭、発熱などの異常状態で使わない。落したときなど破損したまま使わない。
火災･感電の原因となります。すぐに次の処置をしてください。
1. 電源を切る
2.「修理サービス窓口」に連絡する

液晶画面

液晶画面は強く押さない、強い衝撃を与えない。
液晶画面のガラスが割れてけがの原因となります。

液晶画面が割れた場合、内部の液体には絶対に触れない。
皮膚に付着した場合は、炎症の原因となります。
口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な水でよく洗い流して、医師に相談してください。

⚠ 警告

分解・改造しない

本機を分解・改造しない。内部の点検・調整・修理は「修理サービス窓口」に連絡する。
感電・やけど・けがの原因となります。

水・異物は避ける

水、液体（スポーツドリンク、海水、動物・ペットの尿など）、異物（金属片など）が本機の内部に入らないようにする。もし、入ったら、すぐに次の処置をする。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
1. 電源を切る
2.「修理サービス窓口」に連絡する

電子レンジにラベルを入れない

電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らない。
ラベルに使用している材質に金属が含まれています。電子レンジで加熱すると発火ややけどの原因となります。また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

⚠ 注意

電池

破裂による火災・けが、液漏れによる周囲の汚損を防ぐため、次のことは必ず守る。

- 分解しない、ショートさせない
- 充電しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- 種類の違う電池を混ぜて使わない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 本機で指定されている電池以外は使わない
- 極性（＋と－の向き）に注意して正しく入れる
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく
- 電池が消耗した場合は、速やかに電池を交換する

電池が液漏れしたまま使用しない。
火災・感電の原因となることがあります。すぐに本機の使用をやめて「修理サービス窓口」に連絡してください。

高温注意

プリンターヘッドおよび周りの金属部分には触らない。
高温になるため、やけどをする恐れがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

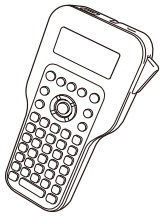
ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

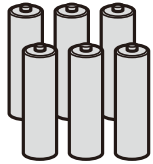
- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。
  使用温度範囲は、10℃～ 35℃です。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲 (10℃～ 35℃) の環境に戻してからご使用ください。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法（98 ページ）をご覧になり、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。
- 本機の故障、修理や電池消耗などにより、記憶させた内容が消えることがありますので、本機に登録した重要なデータは、必ずノートなどに控えを取っておいてください。

付属品を確認しましょう

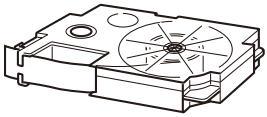
本体



単３形アルカリ乾電池
６本



お試し用テープカートリッジ
（9mm 幅）

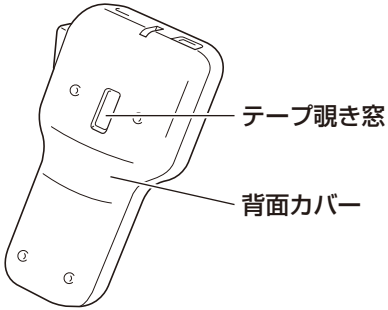


本書（保証書付）
別売品カタログ

・充電池および充電器は商品に付属しておりません。充電池および充電器は電器店、量販店などでお買い求めください。

各部の名前とはたらき


液晶表示画面
テープ出口
電源キー
電源を入／切するときに押します。
操作キー
テープカットボタン
テープを切るときに押します。
文字入力キー


テープ覗き窓
背面カバー

本機の操作の流れ

電池のセット 13 ページ

- **購入後、はじめて使うときはメモリーの初期化をしてください。（16 ページ）**
- メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。

↓

テープカートリッジの取り付け 18 ページ

↓

自由に入力して作る
フリーラベル 28、48 ページ
フリーラベルの編集機能 49 ページ

用途に応じて作る
用途別ラベル 37 ページ
ナンバリング 41 ページ
デザインロゴ 45 ページ

↓

印刷する 30 ページ

電源について

本機を使うときは、電源として付属のアルカリ乾電池の他に、市販の充電式ニッケル水素電池（eneloop、または充電式 EVOLTA）を使うことができます。

• ご使用前に、「安全上のご注意」（4 ～ 7 ページ）を必ずご覧ください。

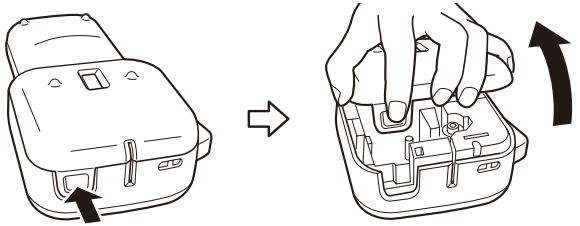
電池をセットする

市販の単 3 形アルカリ乾電池、単 3 形充電式ニッケル水素電池（eneloop、または充電式 EVOLTA）を 6 本使用します（必ず 6 本とも同じ種類の電池を使用してください）。



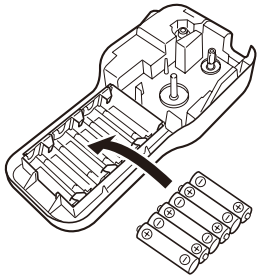
- 電池は、必ず6本とも新品の単3形アルカリ乾電池、または満充電にした、パナソニックグループ製の単 3 形 eneloop（エネループ）または、パナソニック株式会社製の単3形充電式 EVOLTA（エボルタ）をご使用ください。
  それ以外の充電池は使用しないでください。
  指定以外の電池を本機に使用したり、新しい電池と古い電池を混ぜて使用すると、電池の特性と本機の仕様の不一致により、所定の電池寿命を満たさなかったり、誤動作の原因となることがあります。
- 単 3 形充電式ニッケル水素電池（eneloop、または充電式 EVOLTA）を使用する場合は、電池の設定を「充電ニッケル水素」にしてください（97 ページ）。
- ご使用になる電池に対して正しく設定されていないと、電池の消耗を知らせるメッセージが正しく表示されないことがあります。
- eneloop、充電式 EVOLTA を充電する場合は、必ず専用の充電器を使用してください。
- 充電池を本機にセットしたままでは充電できません。
- eneloop、充電式 EVOLTA、および各充電池専用の充電器を使用する場合は、各製品に付属の取扱説明書や注意書きをお読みいただき、条件を守ってご使用ください。

1 背面カバー上部の「▲」を押しながらカバーを開けて取り外します。

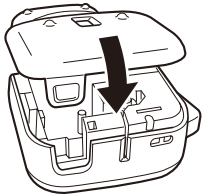


2 電池をセットします。

⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。



3 背面カバーを取り付けます。





- 「電池残り少」と画面に表示されたときは、できるだけ早く新しい電池（別売）と交換してください。充電池を使用している場合は、充電してください。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため、画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。
  その場合は、本機を使用温度範囲（10℃～35℃）の環境に戻してからご使用ください。
- 本機に登録した重要なデータは、ノートなどに控えを取っておいてください。

電池寿命について

標準印刷条件で、18mm テープカートリッジ約４巻分の印刷ができます。

- 黒い部分の多い文字や画像を印刷した場合、低温下で使用した場合、電池をセットしたまま長期間保管した場合は、電池寿命は短くなります。
- 本機をご使用にならない場合も、1 年に 1 度は必ず電池を交換してください。
- 特に消耗した eneloop または充電式 EVOLTA を本機に入れたままにすると、eneloop または充電式 EVOLTA を劣化させる恐れがあるので、本機をご使用にならない場合はすぐに取り出してください。

付属の電池は、工場出荷時より微少な放電による消耗が始まっています。そのため、製品の使用開始時期によっては、所定の使用時間に満たないうちに寿命となることがあります。あらかじめご了承ください。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を!

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ずメモリーの初期化という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。



メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、はじめて使うとき以外はメモリーの初期化をしないでください。

1 **電源が切れていることを確認します。**
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、(電源)を押します。

2 **印刷と変換／空白をいっしょに押しながら、(電源)を押します。**
印刷と変換／空白をいっしょに押し続けたまま、(電源)から指を離します。

3 **印刷と変換／空白から指を離します。**
「メモリー初期化？　実行／取消し」が表示されます。

4 **実行を押します。**

メモリーとは
本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。
「メモリーの初期化」とは
本機が正常な動作をするために、電気的な設定をすることです。「メモリーの初期化」をすると、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。
また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。

電源を入れる・切る

一度「メモリーの初期化」をしたら、次からは電源を押すだけで本機を使うことができます。

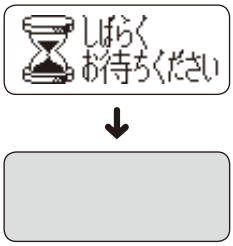
電源を入れるには…

電源を押します。



電源を切るには…

電源を押します。



• 画面の明るさを調整するときは、95 ページをご覧ください。

オートパワーオフ（節電）機能について

何も操作をしないで、約 6 分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これを**オートパワーオフ機能**といいます。
再び本機を使うときは、電源を押してください。

テープカートリッジを取り付ける / 取り外す

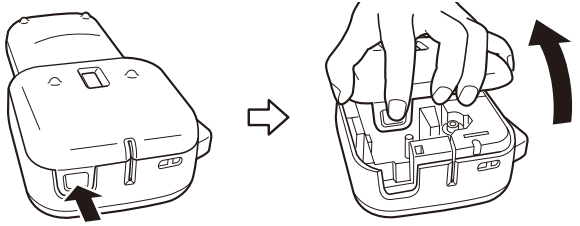
ラベルを印刷するときには、テープカートリッジが必要です。
付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。
本機でご使用になれるテープ幅は、3.5mm・6mm・9mm・12mm・18mm です。

・テープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。

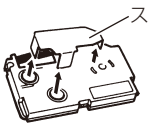
テープカートリッジを取り付ける

1 電源を押して、電源を切ります。

2 背面カバー上部の「▲」を押しながらカバーを開けて取り外します。

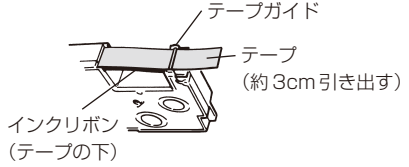


3 テープカートリッジについているストッパーを取り外します。



4 **テープとインクリボンの状態を確認します。**

- テープの先が曲がっていない（曲がっていたらハサミで曲がった部分をカットする）
- テープの先がテープガイドを通っている
- インクリボンがたるんでいない

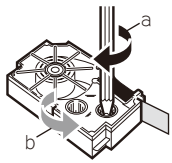


重要

- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
- 無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。
- インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

インクリボンがたるんでいたら、たるみを取ります

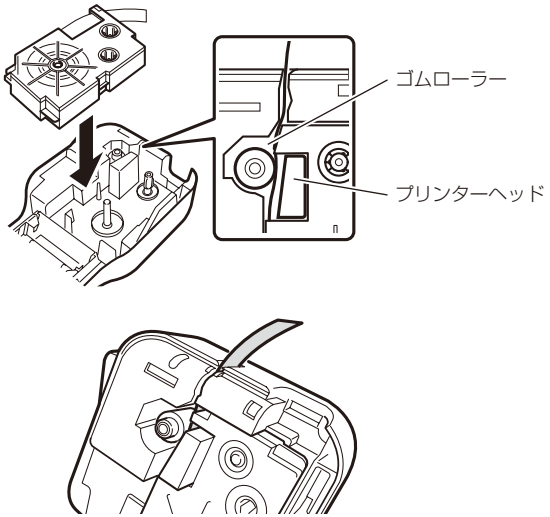
インクリボンがたるんでいたら、aのように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。bの方向に左下の軸が回り始めるまで右上の軸を回してください。
このとき、テープはいっしょに動きません。



5 テープカートリッジをセットします。

インクリボンが引っかからないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます（下図）。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

重要 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。



6 **背面カバーを取り付けます。**
- カバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

テープカートリッジを取り外す

1 **電源を押して電源を切ります。**

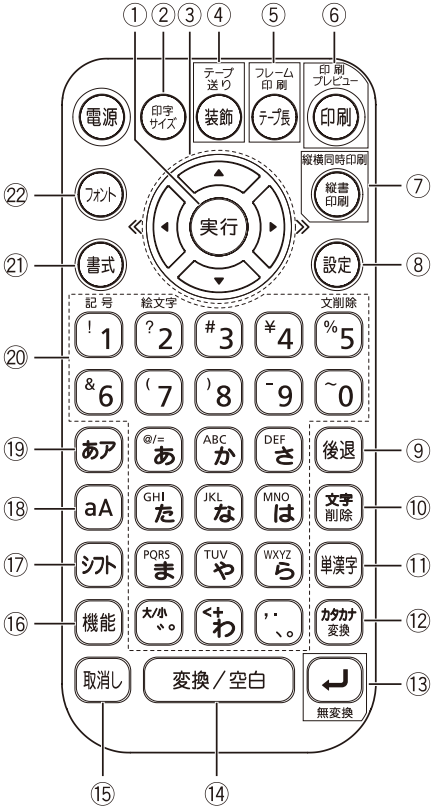
2 **背面カバー上部の「▲」を押しながらカバーを開けて取り外します。**

3 **テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。**
- 印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてからテープカートリッジを取り出してください。

重要
- 当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収 / 分解し、再資源化しております。使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

キーのはたらき

ここではキーの主な使い方について説明します。





本書中では、操作手順などで使うキー（ボタン）の形状を次の表の形状で示しています。実際のキーとの対応関係にご注意ください。

①	実行	操作を進めるときに押す。
②	印字サイズ	印字する文字の大きさを選択して決めるときに押す。
③	▲▼◀▶	• 文字が入る位置を示した_（カーソル）や、文字編集などのときに範囲を指定する■を動かすときに押す。 • 項目などを選択するときに押す。
④	テープ送り 装飾	文字体（太字、白抜、影付、立体）や、文字修飾（網掛、下線、枠付）を指定するときに押す。 • テープを空送りするときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑤	フレーム印刷 テープ長	フリーラベルで長さを設定するときに押す。 • フリーラベル以外では使用できません。 • フレーム印刷をするときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑥	印刷プレビュー 印刷	印刷するときに押す。 • 印刷結果を画面で見るときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑦	縦横同時印刷 縦書印刷	縦書き印刷をするときに押す。 • 縦横同時印刷をするときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。 • フリーラベル以外では使用できません。
⑧	設定	画面の明るさや印刷濃度などの設定を変えたいときに押す。
⑨	後退	カーソルの前の文字を消すときに押す。
⑩	文字削除	カーソルの上の文字を消すときに押す。
⑪	単漢字	1 文字ずつ漢字に変換するときに押す。

⑫	カタカナ変換	入力中のひらがなをカタカナに変換するときに押す。
⑬	↵ 無変換	改行するときに押す。 ・漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときは、機能を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑭	変換／空白	・ひらがなを漢字などに変換するときに押す。 ・「空白」を入力するときに押す。
⑮	取消し	操作を戻したり、中止したりするときに押す。
⑯	機能	キーの上下または横に機能と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
⑰	シフト	数字キーに印刷されている記号を入力したいときは、まずこのキーを押す。
⑱	aA	アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す（71 ページ）。
⑲	あア	ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す（71 ページ）。
⑳	**（文字キー）**	文字を入れるときに押す。
㉑	書 式	書式を設定するときに押す。
㉒	ﾌｫﾝﾄ	フォント（書体）を選ぶときに押す。



機能と シフト の操作は、次のように行います。

1. 機能 （シフト）を押し、指を離してから目的のキーを押す。

キーの表記について

●本文中では、操作手順の中で使うキー（ボタン）を[@/=あ]や[実行]などのように表記しています。

例 [@/=あ]を押したあとに続けて[実行]を押すときの表記

↓

[@/=あ][実行]と押します。

●本機のキーの上下または横に[機能]と同じ色で書かれている機能（「文削除」や「無変換」など）を使うには、[機能]を押し、指を離してから[機能]と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例「文削除」機能を使うときの表記

↓

[機能]を押し、指を離してから[文削除 % 5]を押します。

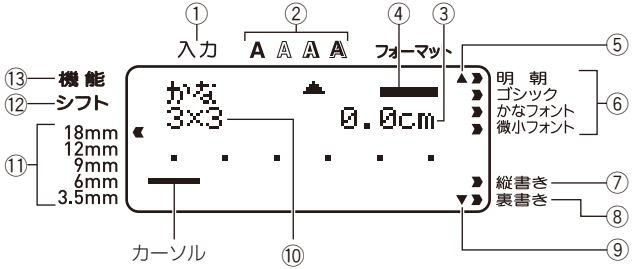
●操作手順の中で、「[▲][▼][◀][▶]を押して…」「[▲][▼]を押して…」「[◀][▶]を押して…」と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4 つまたは 2 つのキーすべてを押す必要はありません。

- 1 つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは[取消し]を押します。
- [取消し]を何回押しても希望の画面に戻らないときは、(電源)を押して一度電源を切ります。再び(電源)を押して電源を入れ直して、はじめから操作をやり直してください。

画面について

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

• 画面の明るさを変えるときは、95 ページをご覧ください。

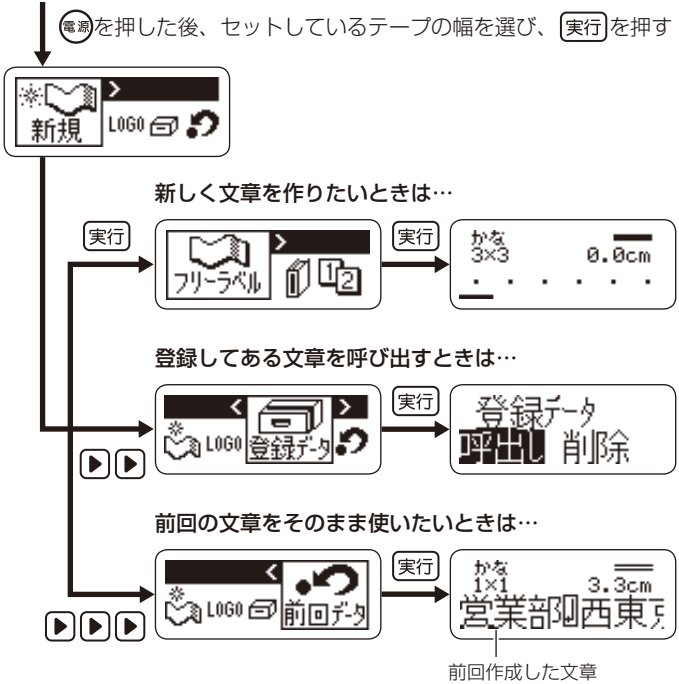


①	入力できる文字の種類や入力方法を示す。(71、85 ページ)
②	文字体が何になっているか示す。(91 ページ)
③	いま作っているラベルの長さを示す。(55 ページ)
④	フリーラベルを選択したときのレイアウトを示す。(50 ページ)
⑤	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。
⑥	書体(フォント)が何になっているかを示す。(87 ページ)
⑦	縦書きになっていることを示す。(51 ページ)
⑧	裏書きになっていることを示す。(51 ページ)
⑨	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。
⑩	文字のサイズを示す。(59 ページ)
⑪	テープ幅設定でセットしているテープの幅を示す。(95 ページ)
⑫	[シフト]を押したことを示す。
⑬	[機能]を押したことを示す。

印刷する文章の作り方について

本機では、文章の作り方について、次の方法があります。

- 新しく文章を作る
- 登録してある文章を呼び出して作る
- 電源を切る前に入力していた文章（前回の文章）を呼び出して作る



- 電源を入れた直後の画面で「前回データ」以外を選択したときは、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータは、登録してから上記の操作をしてください（データの登録→ 67 ページ）。

まずは作ってみましょう

準備ができたら、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。

ラベルを印刷する

[印刷例]

営業レポート

1 電源を押して、電源を入れます。



2 ◀▶を押して、セットしているテープの幅を選び、実行を押します。

ここでは「12mm」を選びます。



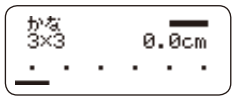
3 ◀▶を押して「新規」にし、実行を押します。



4 ◀▶を押して作りたいラベルの種類を選び、実行を押します。

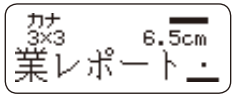
ここでは「フリーラベル」を選びます。

- フリーラベルで入力できる文字数は、127 文字です。



5 文字を入力します。

ここでは「営業レポート」と入力します。



- 文字の入力方法については、34 ページをご覧ください。
- ひらがなを漢字に変換したときは、最後に 実行 を押して確定してください。

■印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。

1 機能 を押し、指を離してから 印刷 (印刷プレビュー) を押します。



どのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます

2 じっくりと見たい部分が流れてきたら、実行 を押します。



その部分が止まります

実行 を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは 取消し を押します。
- 細い線のある文字や字画の多い漢字は正しくプレビュー表示されないことがあります。

■印刷する

作成したラベルは簡単に印刷できます。複数枚を連続して印刷することもできます。

- ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さと完全には一致しません。

重要 印刷する前に、以下の点にご注意ください。

- 印刷時の注意事項（35 ページ）を必ずご覧ください。
- 「テープカートリッジがセットされていること」、「テープ出口（11 ページ）が物でふさがっていないこと」を確認してください。

1 **文字を入力したら、実行を押します。**



2 **印刷 になっていることを確認して、実行を押します。**



3 **◀▶を押して、印刷する枚数を指定します。**
ここでは「1 枚」にします。

- ◀を押すと数字が減り、▶を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。一度に、50 枚まで指定できます。
  0 枚を指定することはできません。
- 印刷したラベルをハサミでカットするときの目印（カットマーク）を付けるかどうかの設定ができます。

4 実行を押します。

印刷が始まります。

・印刷を途中でやめるときは、取消しを押します。

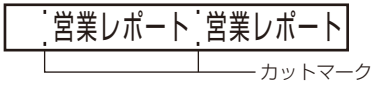
カットマークについて

次の場合には、印刷後にラベルをカットマークに合わせてハサミなどでカットしてください。

① 複数枚のラベルを一度にまとめて印刷した場合。

②「余白」を「小」または「中」に設定してラベルを印刷した場合。

[複数枚の印刷例]



カットマークの設定は、96 ページをご覧ください。購入後やメモリーの初期化をした後では、カットマークを付ける（マークあり）設定になっています。マークありの場合、テープ幅に合わせた形状のカットマークが付きます。

テープを空送りする

印刷する前や印刷した後に、テープを白紙で送ることができます（テープ送り）。

1 機能 装飾（テープ送り） **と押します。**

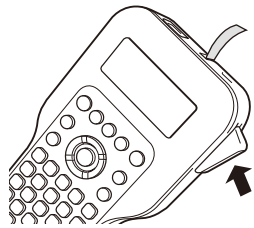
↓

テープが約 21mm 送られます。

テープをカットする

1 **テープカットボタンを押して、テープをカットします。**

- テープ出口を上に向けた状態でテープを切らないでください。
- テープカットボタンを必要以上に強く押さないでください。



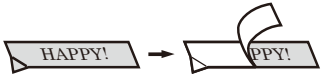
重要 印刷がすべて終わったことを確かめてから、テープをカットしてください。印刷中にテープカットボタンを押すと、テープが詰まったり、本機が壊れたりすることがあります。

ラベルを貼る

1 **必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・形にします。**

2 **ラベルの裏をはがして、貼ります。**

ラベルの角を折り曲げると、はがしやすくなります。



・一度貼ったラベルをはがすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。

重要 **次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。**

- **直射日光や雨が当たるもの**
- **人や動物の体**
- **他人の家の塀や電柱など**
- **電子レンジで加熱に使う容器**

ラベルが貼りにくいものは
・表面がざらざらしているところ
・表面に水や油、ホコリなどが付いているところ
・特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP 材など）

終了する



1 **上の画面が表示されているときに◀▶を押して 終了 にし、実行を 2 回押します。**

以下の画面に戻ります。



・「登録」については、67 ページをご覧ください。

文字の入力について

■「営業」を入力します。

本機では、文字は「かなめくり入力」で入力します。かなめくり入力の詳細については「かなめくり入力一覧」（106 ページ）をご覧ください。

1 あアを何回か押して、画面左上に「かな」を表示させます。

2 @/= あ @/= あ @/= あ @/= あ ▶ @/= あ @/= あ ABC か ABC か 大/小 ゃゅょ TUV や TUV や TUV や 大/小 ゃゅょ @/= あ @/= あ @/= あ

3 変換／空白を何回か押して、「営業」が画面に表示されたら実行を押します。

■「レポート」を入力します。

1 あアを何回か押して、画面左上に「カナ」を表示させます。

2 WXYZ ら WXYZ ら WXYZ ら WXYZ ら MNO は MNO は MNO は MNO は MNO は 大/小 ゃゅょ 大/小 ゃゅょ <+ わ <+ わ <+ わ <+ わ <+ わ GHI た GHI た GHI た GHI た GHI た

3 実行を押します。

・誤った文字を入力したときは、文字削除（83 ページ）や後退（83 ページ）を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。

• 文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」（70 ページ）をご覧ください。

印刷時の注意事項

印刷するときには以下の点に注意してください。



- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、背面カバーを絶対に開けないでください。（11 ページ）
- 印刷中に出てきたテープは、印刷が終了するまで触らないでください。
- テープ出口の周りに、テープがたまらないようにしてください。テープがテープ出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、取消しを押して印刷を中止してください。
- 1度に印刷されるラベルの長さが極端に長い場合は、印刷できません。ラベルの長さを短くする、または、印刷枚数を減らして、印刷し直してください。

反射テープ、アイロン布テープ、熱収縮チューブについて

反射テープ、アイロン布テープ、熱収縮チューブは特殊な処理をしてあるテープです。

カットするときは、下記の手順に従ってハサミなどをお使いください（アイロン布テープは、必ず、布などを切る裁ちばさみをお使いください）。

なお、本機で**反射テープ、アイロン布テープ、熱収縮チューブ**をカットすると、カッター部分の寿命が短くなることがあります。ご注意ください。

1 印刷する

2 機能 装飾（テープ送り）と押して、テープ送りをする

3 **テープ**を取り出し、ハサミなどを使ってカットする

・ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

ラベル作成編

ラベル作成の流れ

ラベルを印刷するときは、以下の手順で操作してください。

操作の流れ

1 ラベルの種類を選ぶ
フリーラベル..... 48 ページ
用途別ラベル..... 37 ページ
ナンバリング..... 41 ページ

登録してあるデータを呼び出して使うときは（68 ページ）

前回作成したデータを使うときは（27 ページ）

2 文字を入力する（71 ページ）

3 文字を修飾する
書体（フォント）を変える（87 ページ）、文字を目立たせる（文字体）（91 ページ）

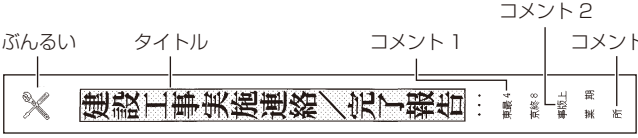
ラベルを印刷（30 ページ）・登録（67 ページ）・終了する

フォーマットを選んで作る（用途別ラベル）

本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

名前ラベル・送付ラベル・ファイルラベル・CD-R ラベル・値札ラベル・汎用ラベルがあります。用途に応じて選択してください。
ここでは、ファイルラベルを例に説明します。

[印刷例]



（9mm 幅テープ / ファイル / ファイル背 / 小 3）

重要 118 ページをご覧になりフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。

フォーマットを選ぶ

1 電源を押して電源を入れた後、セットしているテープの幅を選び、実行を押します。
ここでは「9mm」を選びます。



2 ◀▶を押して「新規」を選び、実行を押します。



3 ◀▶を押して「用途別ラベル」を選び、実行を押します。



4 ◀▶を押して作成するラベルの種類を選び、実行を押します。

ここでは「ファイル」を選びます。
フォーマット選択画面が表示されます。



フォーマット選択画面について

ここでは、例として、「ファイル背」の画面を説明します。



ラベルを貼る位置を示します。

ラベルの種類を示します。

対応するテープ幅を示します。
使用できるテープ幅は点滅します。
使用できないテープ幅は、消灯します。

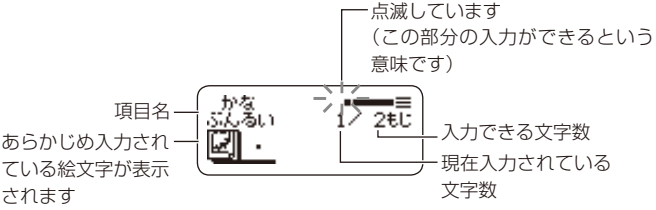
5 ◀▶を押して、「ファイル」ラベルの種類を選び、実行を押します。

ここでは「ファイル背」を選びます。



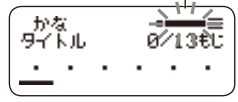
6 ◀▶を押してフォーマットを選び、実行を押します。

詳しくは「用途別ラベルフォーマット一覧」（118 ページ）をご覧ください。
ここでは「小 3」を選びます。
文字入力画面が表示されます。



7 画面の絵文字を必要に応じて変更し、実行を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていなかったりします。
- 他の絵文字に変えるときは、82 ページをご覧ください。



8 文字を入力し、実行を押します。

ここでは「タイトル」「コメント 1」「コメント 2」「コメント 3」に入力します。

- 枠が付けられるフォーマットの場合は、装飾を押し、◀▶で**もじ修飾**を選び、実行を押し、枠付「あり／なし」のどちらかを選ぶことができます。

これでラベルデータが完成しました。



- ラベルデータを印刷するときは→ 30 ページ
- ラベルデータを登録するときは→ 67 ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に書式を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

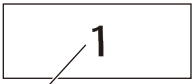
通し番号のついたラベルを作る（ナンバリング）

ページ番号や通し番号がついたラベルを作る（連番印刷）ことができます。

重要 3.5mm 幅のテープカートリッジは使用できません。

ナンバリングの種類

• フォーマット 1



• フォーマット 2



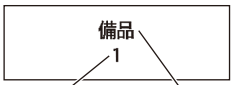
• フォーマット 3



• フォーマット 4



• フォーマット 5



• フォーマット 6



- 印刷するたびに、“ナンバー”が 1 つずつ繰り上がっていきます。
- “コメント”は 50 文字まで入力できます。
- 上の例は 18mm 幅テープで作成しました。

[印刷例]

備品No.15（総務管理）
備品No.16（総務管理）
備品No.17（総務管理）

「備品 No.15（総務管理）」～「備品 No.17（総務管理）」のラベルを印刷します。

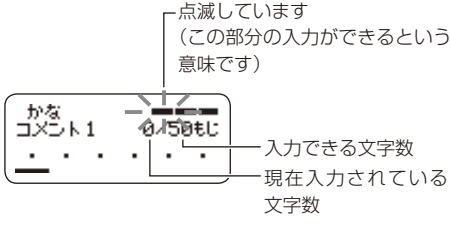
重要 ナンバリング印刷では、指定枚数分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、取消しを押して印刷を中止してください。

1 電源を押して電源を入れた後、セットしているテープの幅を選び、実行を押します。

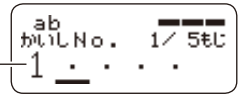
2 ◀▶を押して「新規」を選び、実行を押します。

3 ◀▶を押して「ナンバリング」を選び、実行を押します。

4 ◀▶を押してフォーマットを選び、実行を押します。
ここでは「4」を選びます。



5 **「コメント 1」の文字を入力し、実行を押します。**
ここでは「備品」と入力します。

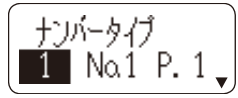


先頭の数字が表示されます

6 **ナンバリングの先頭になる数字に変更し、実行を押します。**
ここでは、「No.15」～「No.17」のラベルを作るので、「15」を入力します。

- 先頭になる数字を変更するときは、数字を削除して入力し直してください。5 桁まで入力できます。

7 **「コメント 2」の文字を入力し、実行を押します。**
ここでは「(総務管理)」と入力します。



8 **▲▼◀▶を押してナンバリングの形を選び、実行を押します。**
ここでは「No.1」を選びます。

9 **◀▶で印刷を選び、実行を押します。**



重要 印刷するときは、35 ページの注意事項をご覧ください。

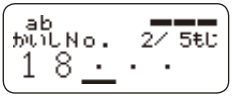
10 ◀▶を押して連番として印刷する枚数を設定し、連番の開始と終了の番号を確認してから実行を押します。

ここでは、15、16、17 番を印刷するので、「3」を設定します。

- 1 ～ 50 までを入力できます。
- 直接数字を入力することもできます。

印刷が開始されます。終了すると、右の画面が表示されます。

- ナンバー「99999」の次は、「00000」が印刷されます。
- 「長さオーバー　印刷できません」と表示されたときは、105 ページをご覧ください。



表示される番号は、作成するラベルによって異なります。

重要

- テープ出口の周りに、テープがたまらないようにしてください。テープがテープ出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。

- ラベルデータを登録するときは→ 67 ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

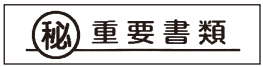
- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する
- 「余白」の設定をする

上記の設定をするには、文字入力中に書式を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

ロゴ入りのラベルを印刷する（デザインロゴ）

オフィス、工場・建設などの現場、家庭などでよく使う表現を選ぶだけで、イラストや文字の入ったアテンション効果に優れたラベルを作ることができます。

[印刷例]



- 印刷可能なデザインロゴについては、デザインロゴ一覧（125 ページ）をご覧ください。
- デザインロゴを印刷できるのは、12mm、18mm 幅のテープです。

1 電源を押して電源を入れた後、セットしているテープの幅を選び、実行を押します。

2 ◀▶を押して「デザインロゴ」を選び、実行を押します。

3 ◀▶を押してグループを選び、実行を押します。
ここでは「書類」を選びます。



4 ▲▼でロゴデータを選びます。
ここでは「重要書類」を選びます。

5 機能を押し、指を離してから印刷（印刷プレビュー）を押すと、選択しているロゴのデザインを確認することができます。
- このとき表示されるのは「大きさ　中」で印刷した場合のデザインです。

6 **じっくりと見たい部分が流れてきたら、[実行]を押して画面を停止させます。**

[実行]を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは、[取消し]を押します。

7 **[実行]を押します。**



8 **[◀][▶]を押して、印刷する大きさを選びます。**

- 大きさは「小」「中」「大」の3種類から選べます。
- 印刷したときのデザインロゴの大きさは 47 ページの表のとおりです。
- 「裏書き」にしたいときには、[▼]を押して、[◀][▶]で**する**を選びます。

9 **[実行]を押します。**

10 **[◀][▶]を押して印刷を選び、[実行]を押します。**

重要 印刷するときは、35 ページの注意事項をご覧ください。

11 **数字キー（または[◀][▶]）を押して印刷枚数を設定し、[実行]を押します。**

- 1 ～ 50 枚まで設定できます。

印刷が開始されます。

デザインロゴ印刷時の大きさ

（サイズはいずれも 縦 × 横 で記載）

	18mm 幅			12mm 幅			9mm 幅以下
	倍率（%）		データの大きさ	倍率（%）		データの大きさ	
	縦	横		縦	横		
小	120	90	12 × 41mm	100	80	10 × 36mm	（不可）
中	120	120	12 × 54mm	100	100	10 × 45mm	（不可）
大	120	150	12 × 68mm	100	120	10 × 54mm	（不可）

自由に入力して作る（フリーラベル）

ここでは自由に入力してラベルを作る（フリーラベル）方法について説明します。

操作を簡単に説明しますと、以下のようになります。

1 **電源を押して電源を入れた後、セットしているテープの幅を選び、実行を押します。**

2 **◀▶を押して「新規」にし、実行を押します。**

3 **◀▶を押して「フリーラベル」を選び、実行を押します。**

4 **自由に文字を入力します。**

・フリーラベルの作り方について詳しくは 28 ページをご覧ください。

2 行以上のラベルを作る

2 行以上の文章を含むラベルを作ることができます。
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

重要 3.5mm 幅テープでは、2 行以上のラベルは作れません。

テープの幅	最大行数
3.5mm	1 行
6mm	2 行
9mm	3 行

テープの幅	最大行数
12mm	5 行
18mm	6 行

- テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。**（ジャストフィット印刷）**
- 文字の大きさを自由に決めた場合（59 ページ）も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

[印刷例]

顧客リスト
最新版

（18mm 幅テープ）

1 **1 行目を入力します。**
ここでは「顧客リスト」と入力します。

2 **↵を押します。**

3 2行目を入力します。

ここでは「最新版」と入力します。



文字の大きさが行数に合わせて自動的に変わります。

改行マークが入ります（画面だけの印なので印刷されません）

作っているラベルのレイアウト（イメージャー表示）線の数は行数を表わし、線の太さは文字の大きさをイメージで表します。

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、[↵]を押します。
- イメージャー表示は、微小フォントでの印刷のときは「5/6」というような表示になります。これは、「行数は 6 行で、カーソルが合っているのは 5 行目」という意味です。
  微小フォントでの印刷について→ 62 ページ。
- セットされているテープ幅に合わない行数にすると、「行数オーバー　印刷できません」と表示され、印刷することはできません。そのときは行数を減らしてください。
- ラベルデータを印刷するときは→ 30 ページ
- ラベルデータを登録するときは→ 67 ページ

こんなラベルを作るには？

顧客リスト最新版↵
営業部

→

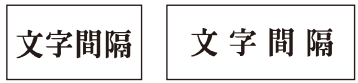
顧客リスト最新版
営業部

文字の大きさを決めます
（59 ページ）

ラベルの書式を決める

ラベルの長さ·文字間隔·文字のバランスなど、ラベルをどのようなルール（書式）で作るのかを決めます。

■設定できる内容

方向	文字の向きを横書きにするか、縦書きにするかを決めます。 
文字割付	文字のバランスを決めます。 ➜57 ページ参照
文字間隔	文字と文字のピッチ（間隔）を決めます。 
裏書き	 • 布転写テープカートリッジ（別売）を使用してハンカチやＴシャツなどにアイロンプリントするときに設定します。 アイロン布テープ（別売）を使用してアイロンプリントするときには、裏書きの設定は必要ありません。 • テープ色が透明なテープカートリッジ（別売）を使用してガラスなど透明なものに裏から貼るときに設定します。
余白	ラベルの前後につくスペースの長さを選びます。 ➜54 ページ参照
テープ長	ラベル全体の長さを自由に決めます。 ➜55 ページ参照

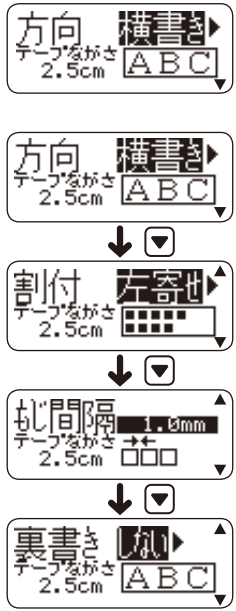
■設定する（フリーラベルの場合）

1 文章を入力します。

2 書式を押します。

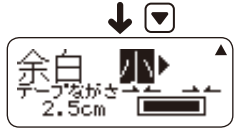
3 各項目を設定します。

- ▲▼を押して設定項目を選びます。
- ◀▶を押して希望の項目を表示させます。



設定項目	内　容
方向	文字を縦書きにするか横書きにするかを選ぶ
割付	文字のバランス（左寄せ / 均等 / 中寄せ / 右寄せ）を設定する →57 ページ参照
もじ間隔	文字と文字の間隔（0.0 ～ 31.9mm）を指定する（◀▶を押すと間隔が変わり、それに合わせてテープ長さの数値も変わる） ・「割付」を「均等」、「テープ長」を「こてい」とした場合は、文字間隔の指定はできません。
裏書き	文字を裏書きで印刷するかしないかを選ぶ。裏書きにしないときは「しない」を選ぶ

設定項目	内　容
余白	ラベルの前後につくスペースの長さを選ぶ



4 各項目を設定したら、実行を押します。

■設定する（用途別ラベル、ナンバリングの場合）

1 文章を入力します。

2 書式を押します。

3 ◀または▶で、「方向」「裏書き」または「余白」を選び、実行を押します。

・用途別ラベルでは「余白」を選ぶことはできません。

4 ◀または▶で、お好みの項目を選び実行を押します。

余白について

ラベルの前後に付くスペースを余白といいます。
次の 3 種類の余白を選べます。

余白小



約 3.0mm　　約 3.0mm

余白中



約 10mm　　約 10mm

余白大



約 19mm　　約 19mm

重要

「余白小」と「余白中」の場合、印刷後にハサミでカットするときの目印（カットマーク）で、テープをカットしてください。

送り無



・「送り無」と設定し、連続して印刷すると、ラベルとラベルを密着させて印刷することができます。
・「送り無」の場合、カットマークは付きません。

ラベルの長さを自由に決める

ラベルは文字の大きさや文字数に合わせて最適な長さで印刷されます。
ここではラベルの長さを自由に設定する方法を説明します。

・ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さと完全には一致しません。

ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）

1 **文字を入力します。**

2 **テープ長を押します。**

3 **◀▶を押して、「テープ長 こてい 」にし▼を押します。**

数値が反転します



4 **数値キーまたは◀（減）・▶（増）を押して、ラベルの長さを設定します。**

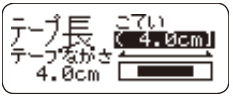
・直接数字を入力することもできます。

• テープ長さと入力されている文字により、次のようになります。



[6.0cm]
↑
指定通りに印刷

営業部



(4.0cm]
↑
文字を横方向に縮めて指定通りに印刷

営業部



2.0cm]
↑
指定した長さより長く印刷*

営業部

* 文字が印刷方向に 50%縮小されて印刷されます。また、印刷されたテープは指定より長くなります。

5 実行を押します。

• フリーラベル以外では、「テープ長」は無効となります。

文章のバランスを整える（割付）

文字や文章のバランスを整えることができます。

左寄せ	江藤まこと
均等	江　藤　ま　こ　と
中寄せ	江藤まこと
右寄せ	江藤まこと

1 文字を入力します。

2 書式を押します。

3 ▲▼を押して、「割付」の設定画面にします。



4 ◀▶を押して、希望の割付の種類を表示させます。

◀▶を押すたびに、**均等** **中寄せ** **右寄せ** **左寄せ** と割付の種類が変わります。

5 実行を4回押して、入力画面に戻ります。

6 フレーム印刷
テープ長を押して、「テープ長」を画面に表示させます。

7 ◀▶を押して、「テープ長　こてい」にし、▼を押します。

数値が反転します



8 数値キー、または◀（減）・▶（増）を押して、希望の数字（ラベルの長さ）にし、実行を押します。

元の長さより長い数値にします。

2行以上の文章のときは、「テープ長　じどう」を選んでも、割り付けすることができます。そのときは次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。

左寄せ	中寄せ	右寄せ	均等
下期 販促資料①	下期 販促資料①	下期 販促資料①	下　期 販促資料①

文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、設定されているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです**（ジャストフィット印刷）**。
ここではジャストフィット印刷ではなく、文字の大きさを選択して決める方法を説明します。

文字単位で「1 × 1」～「4 × 4」倍まで文字サイズを選択できます。テープの幅によって、印刷できる文字サイズの最大値（縦方向）は異なります（テープ幅と行数・倍率一覧　124 ページ）。

1×1	2×3	4×4
禁煙	禁煙	禁煙

・縦書きと横書きとでは、印刷結果が異なる場合があります。例えば、1 × 2 と指定すると、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます（上の印刷例はすべて横書きで作成しています）。

1×2（横書き）	1×2（縦書き）
終日禁煙	終日禁煙

［例］「終日禁煙」の「終日」を１×３にする

1 **文字を入力します。**

2 **印字サイズを押します。**



3 **▲▼を押して、「縦」の倍率を設定します。**

ここでは縦倍率を「1」にします。

- 直接数字を入力することもできます。
- 不適切な倍率は入力できません。

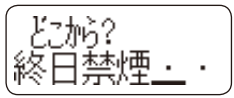
4 **▶を押して、「横」の倍率数値を反転させます。**

- 数字を入力したときは、自動的に「横」の倍率数値が反転します。



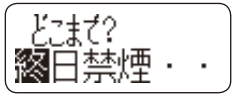
5 **▲▼を押して「横」の倍率を設定し、実行を押します。**

ここでは横倍率を「3」にします。



6 **◀▶を押して大きさを変える最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。**

ここでは「終」を指定します。

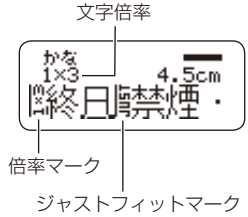


7 ◀▶を押して大きさを変える最後の文字を選び、実行を押します。

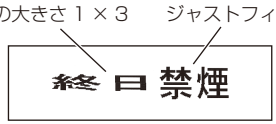
ここでは 終日 にします。

文字倍率：カーソルが合っている文字の大きさを表します。
倍率マーク：印刷される文字の大きさを表します。

ジャストフィットマーク：
自動的に付きます。このマークより後ろの文字はジャストフィット印刷に従った大きさで印刷されます。



- 倍率マークやジャストフィットマークは画面には表示されますが、印刷されません。
- 文字サイズの指定を取り消すときは、倍率マークを文字削除で削除します。
- 倍率マークを削除した場合、文字サイズはテープ幅や入力文字の行数に合わせて自動設定されます。
  ただし、削除した倍率マークよりも左側に倍率の指定があるときは、その倍率になります。



微小フォントについて

●行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）と、テープ幅によって、「微小フォント」となります。

●このとき、画面右の「▶ 微小フォント」が点灯します。

●フリーラベルでは、分数でイメージャー表示されます。



・ イメージャー表示については、「2 行以上のラベルを作る」の手順 **3**（50 ページ）をご覧ください。

●微小フォントでは、次のような特徴があります。

・ フォントの設定は、無効です（すべて同じフォントで印刷されます）。

・ 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。

・ 絵文字は、きれいに印刷できないことがあります。

フレームを付ける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームを付けることができます。
フレームの一覧は 116 ページをご覧ください。

重要 3.5mm 幅テープにフレームを付けることはできません。

[印刷例]



（18mm 幅テープ／イラスト／フレーム番号= 52）

1 文字を入力します。

2 [機能]を押し、指を離してから[テープ長]（フレーム印刷）を押します。

3 [▲][▼][◀][▶]を押して使うフレームを選び、[実行]を押します。
ここでは[52]を選びます。

4 [◀][▶]で 印刷 を選び、[実行]を押します。

重要
- 印刷するときは、35 ページの注意事項をご覧ください。
- フレーム印刷では、テープの長さ設定（55 ページ）をしても、設定した長さより長くなる場合があります。

5 **数字キー（または◀▶）を押して印刷枚数を設定し実行を押します。**

・1 ～ 50 枚まで設定できます。

印刷が開始されます。

・「文字修飾」の指定は無効になります。

フレーム印刷できる行数

テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。

	18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅	6mm 幅
フレーム印刷できる行数	4 行以内	3 行以内	2 行以内	1 行

縦書きのラベルを作る

フリーラベルの入力中、または入力後の確認画面（30 ページの手順 **1** の画面）表示中に縦書印刷を押すだけで、簡単に縦書きのラベルを印刷することができます。また、縦書きと横書きのラベルを一度に印刷することもできます。

縦書印刷



縦横同時印刷



縦書き（1 枚目）、横書き（2 枚目）が続けて印刷されます。

・フリーラベル以外では、縦書印刷や機能 縦横同時印刷 縦書印刷は無効となります。フリーラベル以外で縦書きのラベルを作成するときは、書式設定画面（52 ページ）で「縦書き」を設定してください。

1 **文字を入力します。**

2 **縦書印刷を押します。**
縦書きと横書きのラベルを一度に印刷するときは、機能を押し、指を離してから 縦横同時印刷 縦書印刷 を押します。

重要 印刷するときは、35 ページの注意事項をご覧ください。

3 **数字キー（または◀▶）を押して印刷枚数を設定し、実行を押します。**

・1 ～ 50 枚まで設定できます。

印刷が開始されます。

■「平成 28 年 12 月」、「'16 年 12 月」などのラベルの作り方

[印刷例]



・「28」や「'16」などは、記号一覧（110 ページ）の記号を使用すると、上の例のようなラベルを作ることができます。記号の入力方法については、81 ページをご覧ください。

作成したデータを登録する・呼び出す

作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。
登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

データを登録する

データに名前を付けて登録します。
データは 10 件まで登録できます。

文字の入力後、実行を押すと右の画面になります。



1 ◀▶**を押して登録を選び、実行を押します。**



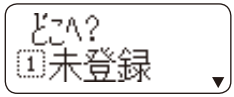
2 **登録名を入力し、実行を押します。**

登録名は 5 文字まで入力できます。

- 登録名はデータを呼び出すときに使います。

3 ▲▼**を押して登録する場所を選びます。**

- まだデータが登録されていない場所は、「未登録」と表示されます。



4 実行を押します。

・「よろしいですか？」と表示されます。

5 実行を押します。

「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

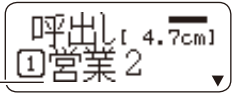
登録したデータを呼び出す

登録したデータは、作成方法画面（28 ページの **2** の画面）から呼び出します。

1 ◀▶を押して「登録データ」を選び、実行を押します。



2 ◀▶を押して **呼出し** を選び、実行を押します。



登録名が表示されます

3 ▲▼を押して呼び出したいデータの登録名を探し、実行を押します。

データが呼び出されます。
必要に応じて、修正・印刷してください。

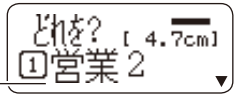
登録したデータを削除する

登録したデータは、作成方法画面（28 ページの **2** の画面）から削除することができます。

1 **◀▶を押して「登録データ」を選び、実行を押します。**



2 **◀▶を押して削除 を選び、実行を押します。**



登録名が表示されます

3 **▲▼を押して削除したいデータの登録名を探し、実行を押します。**

「よろしいですか？」と表示されます。

4 **実行を押します。**

- 「削除完了」と表示され、手順 1 の画面に戻ります。
- データ削除の操作をやめるときは取消しを押します。

入力・編集編

文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、文字修飾の指定についても説明しています。

カーソルのはたらきと動かし方

画面上で点滅している**_**を**カーソル**といいます。
カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。



◀	左にカーソルが移動する	▶	右にカーソルが移動する
機能を押し、指を離してから ≪◀を押す	行の先頭にカーソルが移動する	機能を押し、指を離してから ▶≫を押す	行の最後にカーソルが移動する
機能を押し、指を離してから ▲を押す	文の先頭にカーソルが移動する※	機能を押し、指を離してから ▼を押す	文の最後にカーソルが移動する※

※フリーラベルでのみ有効です。

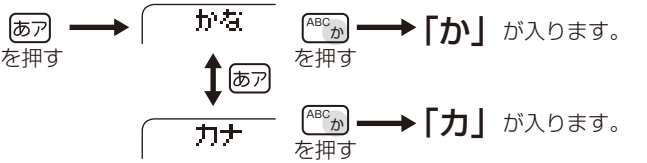
スクロールについて
画面にかくれている文字を見るためには、◀▶を押して、かくれている部分にカーソルを動かします。
（◀▶を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。）

入力する文字の切り替え方法

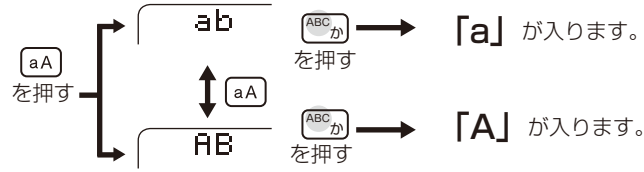
文字キーは、1 つで数種類の文字が入力できるようになっています。あアや aA を押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・記号が入力できるように、切り換えます。

ここでは ABC か を例にとって、説明します。

ひらがな・カタカナの入力



アルファベット（大文字・小文字）の入力



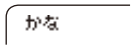
ひらがな・カタカナの入力

本機では、ひらがな・カタカナは「かなめくり入力」で入力します。

ひらがなの入力

［例］ さくら

1 あア を何回か押して、画面左上に「かな」を表示させます。



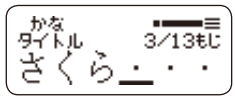
2 DEF さ ABC か ABC か ABC か WXYZ ら と押します。



ひらがなを入力している最中は、
■ が文字に重なっています

3 機能 を押し、指を離してから ↵ 無変換 を押すか、実行 を押します。

「さくら」が確定します。



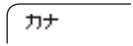
・「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

重要 かなめくり入力の詳細については「かなめくり入力一覧」（106ページ）をご覧ください。

カタカナの入力

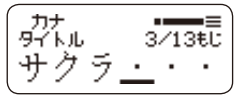
［例］ サクラ

1 あアを何回か押して、画面左上に「カナ」を表示させます。



2 DEF さ ABC か ABC か ABC か WXYZ ら と押します。

3 実行を押します。



重要 かなめくり入力の詳細については「かなめくり入力一覧」（106ページ）をご覧ください。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する（カタカナ変換）

例 サクラ

① ひらがなで「さくら」と入力します。

② さくらとなっているときに、カタカナ変換を押します。

さくらが「サクラ」に確定されます。

いろいろな文字の入力方法

	例	入力方法
促音	いった	@/= あ　@/= あ　GHI た　GHI た　GHI た　大/小　▶　GHI た
拗音	きょう	ABC か　ABC か　TUV や　TUV や　TUV や　大/小　@/= あ　@/= あ　@/= あ
濁音	ぼく	MNO は　MNO は　MNO は　MNO は　MNO は　大/小　ABC か　ABC か　ABC か
半濁音	ぱぱ	MNO は　大/小　大/小　▶　MNO は　大/小　大/小
句点	。	、。　、。
読点	、	、。
長音	ー	<+ わ　<+ わ　<+ わ　<+ わ　<+ わ
中点	・	「ab」または「AB」表示のときに 、。　、。　、。
を		<+ わ　<+ わ
ん		<+ わ　<+ わ　<+ わ
ヴ		「カナ」表示のときに @/= あ　@/= あ　@/= あ　大/小　大/小
カ		「カナ」表示のときに ABC か　大/小　大/小
ケ		「カナ」表示のときに ABC か　ABC か　ABC か　ABC か　大/小　大/小
空　白		変換／空白

- 上記の操作後、実行で確定させます。
- ,（カンマ）.（ピリオド）の入力方法については、80 ページをご覧ください。
- 「空白」は、半角で入力することはできません。

漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します（例：「花」→「はな」）。
ひらがなから漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、実行を押して、他の文字に変わらないように**確定**します。

ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。

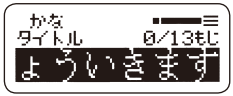
- **文章を入力してから変換する**
- **同音異義語を変換する**（例：公園、後援など）
- **漢字１文字分ずつ変換する**（当て字や難しい固有名詞などの変換）

文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。
まとめて変換できる文字数は、32 文字までです。

［例］　今日行きます

1 「きょういきます」をひらがなで入力します。



2 変換／空白を押します。

「きょういき」と「ます」という２つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。



「境域」に下線が付いています

3 ◀を２回押します。

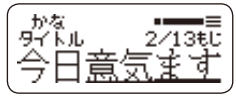
「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。



「今日」に変換されます

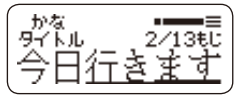
4 実行を押します。
「今日」が確定されます。
「いき」と「ます」という２つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」が「意気」に変換されます。

5 ▶を２回押します。
「いき・ます」を「いきます」という言葉にするためです。

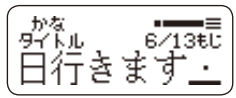


6 変換／空白を何回か押して、「行きます」にします。

変換／空白を押すたびに、「いきます」に当てはまる言葉が次々と表示されます。



7 「行きます」が表示されたら、実行を押します。
「行きます」が確定されます。



カーソルと下線の違い
カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。ひらがなを漢字に変えるときに付く下線は、「現在、変換することができる部分」を示した印です。

・下線が付いているときに取消しを押すと、「よみ」の状態に戻ります。

変換／空白　　取消し
例 きょう → 今日 → きょう

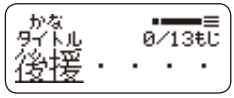
「よみ」を入れて変換／空白を押しても目的の漢字に変換できないときは、単漢字変換を試してみましょう。
（78 ページ）

同音異義語を変換する

複数の漢字が当てはまる「よみ」（同音異義語）を変換する方法を説明します。

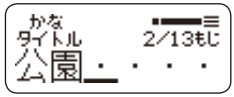
［例］ 公園

1 **「こうえん」と入力し、[変換／空白]を押します。**
「こうえん」に合った漢字の候補が表示されます。



2 **[変換／空白]を何回か押して、「公園」にします。**
[変換／空白]を押すたびに、「こうえん」に当てはまる言葉が次々と表示されます。

3 **「公園」になったら、[実行]を押します。**
「公園」が確定されます。



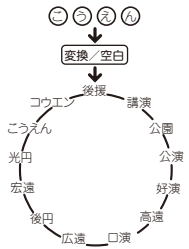
変換のルール

まず[変換／空白]を押して、ひらがなを漢字に変換します。

↓

[変換／空白]または[▼]を押すと、次の漢字が表示されます。

[機能]を押し、指を離してから[変換／空白]を押す、または[▲]を押すと、１つ前の漢字が表示されます（前候補）。



漢字１文字ずつ変換する（単漢字変換）

当て字や難しい固有名詞などを変換するときは、１字ずつ目的の漢字に変換します。

［例］　敦廣（あつひろ）

1 **「あつひろ」をひらがなで入力します。**



2 **変換／空白を何回か押します。**
何回押しても、「敦廣」に変換されません

3 **単漢字を押します。**

・もう一度 単漢字 を押すと、「あ」に当てはまる漢字が表示されます。もう一度 単漢字 を押すと、「あつ」に当てはまる漢字が表示されます。



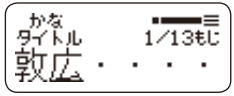
「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます

4 **▲▼◀▶を押して、敦にします。**



5 実行を押します。

「敦」が確定されます。



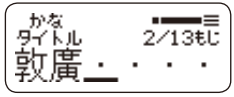
「広」に下線が付きます

6 変換／空白を何回か押して、「廣」にします。

- 単漢字を押して「廣」を探すこともできます。

7 「廣」になっていることを確かめて、実行を押します。

「廣」が確定されます。



思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ？

次のようなことが考えられます。

- 「週（しゅう）」を「しゆう」と入力している
- 「図（ず）」を「づ」と入力している
- 「通り（とおり）」を「とうり」と入力している
- 「社食（しゃしょく）」「道交法（どうこうほう）」など、略語の読みを入力している

次の文字の入力には、特に注意してください。

- 「ぁ」「ぃ」「ぅ」「ぇ」「ぉ」「ゃ」「ゅ」「ょ」の拗音
- 「っ」の促音
- 「ず」と「づ」
- 「じ」と「ぢ」
- 「お」と「う」

アルファベット・数字・記号・絵文字の入力

アルファベット、数字、記号、絵文字の入れ方を説明します。

アルファベットの入力

本機では、アルファベットは「英字めくり入力」で入力します。

[例]　A K I

1 **aA を何回か押して、画面の左上に「a b」または「A B」を表示させます。**

a b：小文字を入力するとき
A B：大文字を入力するとき



2 **ABC か　JKL な　JKL な　GHI た　GHI た　GHI た と押します。**

実行 または ▶ を押して、めくり入力を終了します。

重要 英字めくり入力の詳細については「英字めくり入力一覧」（108ページ）をご覧ください。

•カンマ（,） ピリオド（.）を入力するには

画面の左上に「A B」または「a b」と表示されているときに、次のようにキーを押します。

カンマ： ¨ 、。　　**ピリオド：** ¨ 、。 ¨ 、。

•大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには

「A B」表示のとき・・・・ 大/小 ¨ を押すと、その文字だけ小文字になります。

例 TAKESHI's

「a b」表示のとき・・・・ 大/小 ¨ を押すと、その文字だけ大文字になります。

例 English

数字の入力

［例］　１２３

1 [! 1] [? 2] [# 3] **と押します。**

記号（数字キーに印刷されているもの）の入力

数字キーの左上に印刷された記号



[シフト]を押し、
指を離してから
[# 3]を押すと

→ 「#」が入ります。

記号（その他の記号）の入力



など

記号は「記述･カッコ」「学術」「単位･略」「一般」「数字」「ギリシア･ロシア」「診療科目」の７つのグループに分かれています。110 ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

［例］　☎　（グループ＝単位・略）

1 [機能]**を押し、指を離してから**[記号 ! 1]**を押します。**

記号のグループ名



2 ◀▶を押して**単位・略**にし、実行を押します。

3 ▲▼◀▶を押して☎にし、実行を押します。

絵文字の入力

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は 25 のグループに分かれています。
112 ～ 115 ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。
また、文字体の指定は無効です。

[例]  （グループ＝食べ物）

1 機能を押し、指を離してから絵文字 ?/2 を押します。

絵文字のグループ名



2 ◀▶を押して**食べ物**にし、実行を押します。

3 ▲▼◀▶を押して🍴にし、実行を押します。

文字を修正・削除するときは

文字を間違えて入力したときの直し方と、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。
フリーラベルでは、範囲を指定して削除することもできます。

文字を 1 文字ずつ消す

消す文字	操作
カーソルの上の文字を消す	文字削除 を押す
カーソルの手前の文字を消す	後退 を押す

確定前に文字を消すには…

さくらら など、文字に　　が重なっているとき（確定前）に文字を消すときも、文字削除 または 後退 を押して消します。
また、取消し を押すと、　　が重なっている文字がすべて消えます。

確定➔75 ページ

すべての文字を消す（文削除）

入力中の項目の文章をすべて消します。

1 **機能を押し、指を離してから文削除 % 5を押します。**

「削除しますか？」と表示されます。

・文削除をやめるときは、取消しを押します。
フリーラベルでは「全文削除」と「部分削除」の選択画面が表示されますので、ここで「全文削除」を選んで実行を押します。

2 **実行を押します。**

・画面にあった文字はすべて消えます

■範囲を決めて消す（フリーラベルのみ）

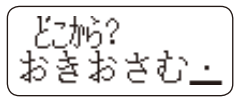
消したい部分の始めと終わりを指定して消す方法です。

［例］「あおきおさむ」を「おさむ」にする

1 **機能を押し、指を離してから文削除 % 5を押します。**

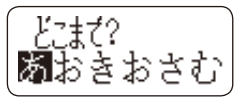
2 **▲▼を押して部分削除を選び、実行を押します。**

操作をやめるときは取消しを押します。



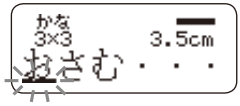
3 **◀▶を押して消したい部分の最初の文字にカーソルを合わせ、実行を押します。**

ここでは「あ」にカーソルを合わせます。



4 ◀▶を押して消したい部分の最後の文字を指定し、実行を押します。

ここではあおきにします。



間違った文字を直す

間違った文字を直す方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

挿入：文字と文字の間に新しい文字を追加できます。
上書き：表示されている文字を新しい文字に入れ替えることができます。

■「上書き」にするとき

シフトを押し、指を離してからあアを押します。



もう一度シフトを押し、指を離してからあアを押すと、「挿入」状態に戻ります。

■間違った文字を消して正しい文字を入力する（「挿入」状態）

①間違った文字の位置にカーソルを合わせて[文字削除]を押します。
②正しい文字を入力します。

■間違った文字の上に正しい文字を入力する（「上書き」状態）

①間違った文字の位置にカーソルを合わせます。
②正しい文字を入力します。

・直す文字数よりも入力する文字数が多いと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしまうため、ご注意ください。

「設定」で切り換えるには

1 [設定]を押します。

2 [◀][▶]を押して「入力設定」を選び、[実行]を押します。

3 [◀][▶]を押して「上書き」または「挿入」を選び、[実行]を押します。

書体（フォント）を変える

入力済みの文字の形（書体）を、和文２書体、かな６書体の中から選ぶことができます。
また電源を入れたときの書体を決める設定方法についても説明しています。

■和文書体

明朝体	ゴシック体
亜	亜

■かな書体（英数を含む）

明朝体	ゴシック体	ボンジュール
あアA1	あアA1	あアA1
メロディ	パレット	プロデュース
あアA1	あアA1	あアA1

・メモリーの初期化をすると、「和文：明朝」「かな：和文と同じ」に設定されます。

・かな書体は、次の文字が指定の対象になります。
  ・アルファベット（A～Z　a～z）
  ・ひらがな（あ～ん）
  ・カタカナ（ア～ン、ヴ、ヵ、ヶ）
  ・数字（１２３４５６７８９０）
  ・記号の一部（、。,.　？！長音ー～（）￥%スペース）

入力済みの文字の書体を変える

定価¥39,800

［例］（「定価」をゴシック体に、「¥39,800」をメロディにする）

1 文字を入力します。

2 フォントを押します。



3 ◀▶を押して**ゴシック**を選び、実行を押します。

（和文の書体の種類を選びます。）



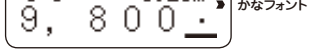
4 ◀▶を押して**あAメロディ**を選び、実行を押します。

（かなの書体の種類を選びます。）

※和文と同じを選ぶと、和文と同じ書体の設定になります。

※和文と同じ以外を選んだときは、かなの書体は、手順４で選んだ書体になります。和文と、かなの書体を同じにしたい場合は、和文と同じを選んでください。

設定後、文字入力の画面に戻ります。



電源を入れたときの書体を決める

1 設定を押します。

2 ◀▶を押して**初期フォント**にし、実行を押します。

3 ◀▶を押して和文フォントのフォント名を選びます。

4 実行を押した後、◀▶を押してかなフォントのフォント名を選びます。

5 実行を押します。

6 電源を押して一度電源を切り、再び電源を押して電源を入れます。

7 文字入力の画面を表示させます。

文字は指定したフォントで入力できます。

- 「登録データ」や「前回データ」を選択し呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

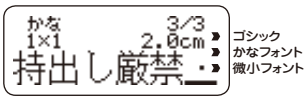
画面表示について

・ 入力中の文字の書体を▶で示します。



微小フォントについて

印刷するときは行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）とテープ幅によって微小フォントで印刷されます。このとき、画面右に「微小フォント」の▶が点灯します。



微小フォントには、次のような特徴があります。

・ フォントの設定は無効です。（すべて同じフォントで印刷されます）
・ 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
・ 絵文字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」「影付」「立体」にして目立たせることができます（文字体）。

・絵文字は、文字体の指定はできません。

標準	太字
住所録	住所録
白抜	影付
住所録	住所録
立体	
住所録	

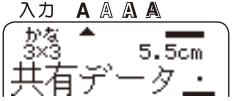
1 文字を入力します。

2 装飾を押し、◀▶で**文字体**を選び、実行を押します。



3 ◀▶を押して文字体の種類を選び、実行を押します。

- A 標準を選ぶと、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。
- 設定後、文字入力の画面に戻ります。



画面上の「**A**」（太字）・「**A**」（白抜）・「**A**」（影付）・「**A**」（立体）に▲が付きます。
標準の場合は何も付きません。

文字に飾りをつける

文字に網を掛けることや、下線や枠を付けることができます。

網 掛	下 線	枠 付
修飾	修飾	修飾

1 文字を入力します。

2 装飾を押し、◀▶で**もじ修飾**を選び、実行を押します。

3 ▲▼を押して文字修飾の種類を選びます。

・用途別ラベルの文字修飾が指定できるフォーマットでは、「わくつき」の「あり」「なし」を選ぶ画面が表示されます。「あみかけ」「かせん」を選ぶことはできません。



4 ◀▶を押して手順３で選んだ文字修飾の「なし / あり」を選び、実行を押します。

・設定後、文字入力の画面に戻ります。

文字修飾を重ねることもできます

特売　　特売

網掛＋枠付　　網掛＋下線

・ただし、文字の大きさによっては、文字や修飾が重なって印刷されることがあります。

設定編

文字の入力方法や画面の明るさなど、本機を操作するための設定方法について説明します。

設定を変える

文字の入力方法や画面の明るさなどの設定を使いやすいように変更することができます。

設定できる項目

電源を入れて最初に[設定]を押すと、右の画面が表示されます。



[◀][▶]で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。

・電源を入れた直後以外の画面では、一部の項目が画面に表示されないことがあります。

設定項目	内容	ページ
テープ幅設定	テープ幅を設定する	95
入力設定	文字の入力方法（挿入 / 上書き）を決める	86
輝度調整	画面の濃淡を調整する	95
印刷濃度	印刷の濃さを調整する	96
カットマーク	ラベルをハサミでカットするときの目印（カットマーク）を付けるかどうかを設定する	96
初期フォント	入力文字の最初の書体を決める	89
電池	アルカリ乾電池か充電式ニッケル水素電池（eneloop、充電式 EVOLTA）のどちらを使うか決める	97

テープ幅を設定する

テープ幅の設定を変更することができます。

1 設定を押します。

2 ◀▶押してテープ幅設定を選び、実行を押します。

3 ◀▶を押してテープ幅を設定し、実行を押します。

画面の明るさを変えたい

画面の表示が見えにくいときは、画面の明るさ（コントラスト）を調整することができます。

1 設定を押します。

2 ◀▶を押して輝度調整を選び、実行を押します。

3 ◀▶を押して明るさを調整し、実行を押します。

◀を押すごとに淡く、▶を押すごとに濃くなります。



印刷の濃さを変えたい

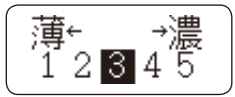
印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

1 設定を押します。

2 ◀▶を押して印刷濃度を選び、実行を押します。

3 ◀▶を押して濃さを設定し、実行を押します。

1にすると 1 番薄く印刷され、5にすると 1 番濃く印刷されます。



・印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境や使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

ラベルをカットする目印（カットマーク）の設定をする

印刷したラベルをハサミでカットするときの目印（カットマーク）を付けるかどうかを設定することができます。

1 設定を押します。

2 ◀▶を押してカットマークを選び、実行を押します。



3 **◀▶を押して「マークあり」または「マークなし」を選び、実行を押します。**

・余白を「送り無」に設定した場合は、カットマークの設定内容にかかわらず、カットマークは印刷されません。

電池の設定をする

アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（eneloop、充電式EVOLTA）のどちらを使うかを設定します。
ご購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後は、アルカリ乾電池を使う設定になっています。

・ご使用になる電池に対して正しく設定されていないと、電池の消耗を知らせるメッセージが正しく表示されないことがあります。

1 **設定を押します。**

2 **◀▶を押して電池を選び、実行を押します。**



3 **▲▼を押して充電ニッケル水素を選び、実行を押します。**

「アルカリ」を選んで実行を押すと、アルカリ乾電池を使う設定に戻ります。

付　録

お手入れの方法

プリンターヘッドやゴムローラーが汚れていると、ラベルをきれいに印刷できません。次の手順に従って、プリンターヘッドやゴムローラーを掃除してください。

綿棒できれいにする

重要
- プリンターヘッドやゴムローラーのお手入れは、綿棒などの柔らかいものをお使いください。また、綿棒は極細タイプをおすすめします。

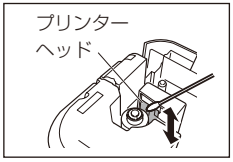
1 背面カバー上部の「▲」を押しながらカバーを開けて取り外します。

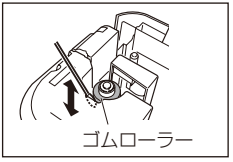
- テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

重要
- 印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてから、テープカートリッジを取り外してください。

2 アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラーの表面を拭きます。

ローラーとヘッドが接触する部分を重点的に拭いてください。





・ゴムローラーは、機能を押し、指を離してから装飾（テープ送り）を押すと回転します。

クリーニングテープを使う

別売のクリーニングテープ（XR-18CLE）を使うこともできます。

1 **背面カバー上部の「▲」を押しながらカバーを開けて取り外します。**
・「綿棒できれいにする」の手順1の注意事項をお読みください。

2 **クリーニングテープを本機に装着します。**

3 **電源を押して電源を入れます。**

4 **機能を押し、指を離してから装飾（テープ送り）を押して、1～2回「テープ送り」をします。**
詳しくはクリーニングテープに付属の取扱説明書をご参照ください。

本体もお手入れしましょう
柔らかい布を水に浸してから固くしぼって、本体を拭いてください。
本体を傷付けるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。

こんなときは（トラブルシューティング）

本機がうまく動かないときには、次の対処方法に従ってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、「メモリーの初期化」（16 ページ）をしてください（メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要なデータはノートなどに控えを取ってください）。それでも解決できない場合は、故障している可能性もありますので、お買い上げ店、最寄りの本機取扱店、もしくは「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●(電源)を押しても何も表示されない	画面の明るさが適切でない	画面の明るさの設定を調整してください。（95 ページ）
	電池が消耗している、または指定以外の電池を使用している	新しい電池（別売）と交換してください。 充電池を使用している場合は、充電してください。
	電池が正しくセットされていない	正しくセットし直してください。（13 ページ）
●正しく終了するが何も印刷されない	テープが終了している	新しいテープカートリッジと交換してください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●印刷が不鮮明になった ●印刷がきれいにできない ●印刷が薄い	プリンターヘッドやゴムローラーに、汚れ、ゴミ、異物が付着している	クリーニングをしてください。（98 ページ）
	インクリボンのたるみによるしわが発生した	インクリボンを巻き取り、テープカートリッジを正しくセットし直してください。（18 ページ）
	電池が消耗している	新しい電池（別売）と交換してください。 充電池を使用している場合は、充電してください。
	印刷濃度が適切でない	印刷濃度を調節してください。（96 ページ）
●印刷されない ●印刷中に電源が切れる	電池が消耗している、または、指定以外の電池を使用している	新しい電池（別売）と交換してください。 充電池を使用している場合は、充電してください。
●目的の漢字に正しく変換されない	正しい「読み」が入力されていない	正しい「読み」を入力してください。特に、拗音（「しょう」の「ょ」など）や促音（「がっき」の「っ」など）の入力には注意しましょう。
	入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている	あア を押して変更してください。（71 ページ）
●印刷プレビュー 印刷 などの機能キーを押しても画面が変わらない	ひらがなに■が重なっている 例 あか 漢字に下線がついている 例 赤	ひらがなや漢字は必ず確定してください。■が重なっていたり下線がついていたりすると（確定前）、他の機能が使えません。

症状	考えられる原因	ご確認ください
● 印刷を押してもテープが出てこない	背面カバーがしっかりと閉まっていない	カバーをしっかり閉めてください。(11 ページ)
	テープが終了している	新しいテープカートリッジ（別売）に交換してください。(18 ページ)
	テープが詰まっている	テープカートリッジを取り出して、詰まったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。そのあと、正しくセットし直します。(18 ページ)
	電池が消耗している	新しい電池（別売）と交換してください。 充電池を使用している場合は、充電してください。
●インクリボンがテープといっしょにテープ出口から出てきた	インクリボンがたるんでいるままで、テープカートリッジをセットした	テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確かめてから、テープを巻き取ってください。そのあと正しくセットし直してください。(18 ページ)
●テープが切れない	テープ出口にテープが詰まっている	電源を切って、テープカートリッジを取り出し、詰まったラベルを取り除いてください。
●ラベルが貼れない	貼る場所やものが適していない	表面がザラザラしているもの、水や油が付いているもの、汚れているものなどには貼れません。(33 ページ)
●ラベルの余白が大きい	書式の余白が「余白大」「余白中」に設定されている	「余白小」または「送り無」に設定し直してください。(54 ページ) （本機の構造上、印刷時にはラベルの先頭に必ず余白が入ります）

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
該当候補なし	• 単漢字変換で候補の漢字がない場合 ➔ 取消し を押して違う読みを入力してください。	78
行数オーバー 印刷できません	• 印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 ➔ 行数を減らすか、テープ幅を変えてください。	49、124
行数オーバー フレーム印刷不可	• フレーム印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 ➔ 行数を減らすか、テープ幅を変えてください。	63
作成中の内容が失われます	• 文章を消して操作を進める場合 ➔ 実行 を押してください。 • 文章を消したくない場合 ➔ 取消し を押してからその文章を登録してください。	67
指定したテープ長より長くなります	• 印刷する場合 ➔ 実行 を押してください。 • 印刷しない場合 ➔ 取消し を押し、「文字数を減らす」、「テープ長を指定し直す」、または書式内で「テープ長を 自動 にする」などの操作をしてください。	55
数字を入力してください	• ナンバリング印刷で、何も入力しないで印刷しようとした場合 ➔ 数字を入力してください	41

メッセージ	原因と対処	参照ページ
前回正しく終了されませんでした	• 前回、電源が入っているときや「しばらくお待ちください」と表示されているときに、電池を取り外すなどして正常に終了できなかった場合 ➔ 登録内容の一部が消去されています。何かキーを押すと、その部分が初期化されます。	13
テープカートリッジが不適当です	• 印刷または呼び出ししようとしているものに対して、テープ幅が不適当な場合 ➔ 電源を切って、テープカートリッジを交換し、テープ幅を設定してください。	18、21
電池残り少 続行しますか？	• 電池が消耗している場合 ➔ 新しい電池に交換してください。 充電池を使用している場合は、充電してください。 • 10℃以下の低温下で使用した場合 ➔ 使用温度範囲（10℃～35℃）でご使用ください。	15
電池残り少 交換してください	• 電池が消耗している場合 ➔ 新しい電池に交換してください。 充電池を使用している場合は、充電してください。 • 10℃以下の低温下で使用した場合 ➔ 使用温度範囲（10℃～35℃）でご使用ください。	15
登録データがありません	• 登録されていない場所を呼び出しや削除しようとした場合 ➔ 別の登録データを選択してください。	68

メッセージ	原因と対処	参照ページ
長さオーバー 印刷できません	• 印刷できるテープの長さを超えて印刷しようとした場合 ➜ テープの長さを短くする、または印刷枚数を減らしてください。	30、55
プリントエラー テープを確認してください	• 印刷中に、テープが詰まった場合 ➜ 電源を切ってテープカートリッジを取り出し、詰まったテープを取り除いてください。	21
	上記の対処をしても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。	136
文字が入力されていません	• 文字を入れないで次の操作に進もうとした場合 ➜ 文字を入力してから次の操作をしてください。	28

かなめくり入力一覧

かな入力するときの、キーを押す回数の一覧表です。
• ひらがなとカタカナの入力の切り替えは、あアを押します。

●ひらがなの入力時（画面左上が「かな」の場合）

キーを押す回数 / 文字キー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
@/= あ	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
ABC か	か	き	く	け	こ					
DEF さ	さ	し	す	せ	そ					
GHI た	た	ち	つ	て	と	っ				
JKL な	な	に	ぬ	ね	の					
MNO は	は	ひ	ふ	へ	ほ					
PQRS ま	ま	み	む	め	も					
TUV や	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ				
WXYZ ら	ら	り	る	れ	ろ					
大/小 ゛゜ ※	゛	゜								
<-+ わ	わ	を	ん	ゎ	ー					
.. 、。	、	。	「	」						

※カーソル上の文字を濁音、半濁音、小文字（拗音、促音）に切り替えたいときに押します。

●カタカナの入力時（画面左上が「カナ」の場合）

キーを押す回数 / 文字キー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
@/= あ	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ
ABC か	カ	キ	ク	ケ	コ	ヵ	ヶ			
DEF さ	サ	シ	ス	セ	ソ					
GHI た	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ				
JKL な	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ					
MNO は	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ					
PQRS ま	マ	ミ	ム	メ	モ					
TUV や	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ				
WXYZ ら	ラ	リ	ル	レ	ロ					
大/小 ゛゜ ※	゛	゜								
<+ わ	ワ	ヲ	ン	ヮ	ー					
、。	、	。	「	」						

※カーソル上の文字を濁音、半濁音、小文字（拗音、促音）に切り替えたいときに押します。

英字めくり入力一覧

英字入力するときの、キーを押す回数の一覧表です。
・英小文字と英大文字の入力の切り替えは、aAを押します。

●英小文字の入力時（画面左上が「ab」の場合）

キーを押す回数 / 英字キー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
@/= あ	@	／	=	*						
ABC か	a	b	c	A	B	C				
DEF さ	d	e	f	D	E	F				
GHI た	g	h	i	G	H	I				
JKL な	j	k	l	J	K	L				
MNO は	m	n	o	M	N	O				
PQRS ま	p	q	r	s	P	Q	R	S		
TUV や	t	u	v	T	U	V				
WXYZ ら	w	x	y	z	W	X	Y	Z		
大/小 ※										
<-+ わ	<	>	+	−	×	÷				
、。	,	.	・	;	:	'	"			

※カーソル上の英字の大文字／小文字を切り替えたいときに押します。

●英大文字の入力時（画面左上が「AB」の場合）

キーを押す回数 / 英字キー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
@/= あ	@	／	＝	＊						
ABC か	A	B	C	a	b	c				
DEF さ	D	E	F	d	e	f				
GHI た	G	H	I	g	h	i				
JKL な	J	K	L	j	k	l				
MNO は	M	N	O	m	n	o				
PQRS ま	P	Q	R	S	p	q	r	s		
TUV や	T	U	V	t	u	v				
WXYZ ら	W	X	Y	Z	w	x	y	z		
大/小 ゃゅょ ※										
<+ わ	＜	＞	＋	－	×	÷				
、。	,	.	・	;	:	'	"			

※カーソル上の英字の大文字／小文字を切り替えたいときに押します。

記号・絵文字一覧

記　号

●記述・カッコ

、。，．・：；？！〝〃〴〵〻〼ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“”
（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】〒〶
〆ヷヸヹ

●学術

＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀∠⊥⌒∂∇
≡≒≪≫√∽∝∵∫∬∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨
¬⇒⇔∀∃∓≃

●単位・略

°′″℃¥＄¢£％Å‰㎎㎡㎥ℓ㏊㎖㎗Hz㍉㌢㍍㌔㌘㌧㎜㎝㎞㎏㏄
㎡㍑㍗㌃㌍㌦㍊㌫㍻㍼㍽㍾TEL FAX No. K.K. ㈱ ㈲ ㈹ ㈿ ㈱ ㈲ ㈹
㈿ ㈱ ㈲ ㈹ ㈿ ㈱ ㈲ ㈹ ㈿ ㈱ ㈲ ㈹ ㈿ ㈱ ㈲ ㈹ ㈿ ㈱ ㈲ ㈹ ㈿
'00 '01 '02 '03 '04 '05 '06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 '13 '14 '15 '16 '17 '18 '19 '20 '21 '22 '23 '24 '25 '26 '27 '28 '29

●一般

＃＆＊＠§※〓♯♭♪†‡¶◯→←↑↓↘↖↗↙⇨⇦⇧⇩⇔⇳☞☜☝☟☆★○●◎◇◆□
■△▲▽▼♠♤♥♡♣♧♦♢

●数字

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳
Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ ⅰ ⅱ ⅲ ⅳ ⅴ ⅵ ⅶ ⅷ ⅸ ⅹ
½ ¼ ¾

記　号

●数字

00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39
40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59
60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79
80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99

●ギリシア・ロシア

Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ
Φ Χ Ψ Ω α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π
ρ σ τ υ φ χ ψ ω А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К
Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю
Я а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с
т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я

●診療科目

㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸

㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿

絵文字

●オフィス



●節電



●スケジュール



●天気



●注意



●現場



●案内

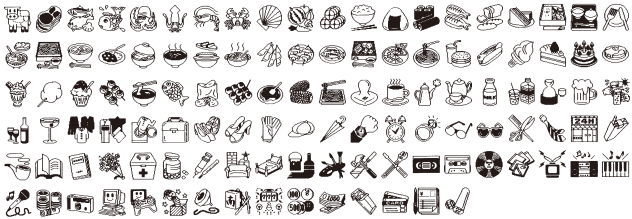


●病院



絵文字

●店



●食べ物



●暮らし



●分別



●乗り物



絵文字

●季節



●ビデオ



●オーディオ



●おもしろ



●趣味



●スポーツ



絵文字

●人物



●生き物



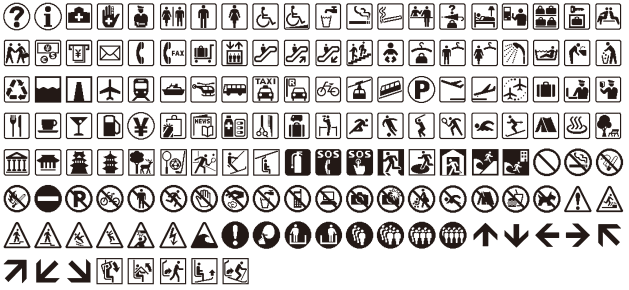
●干支



●星座



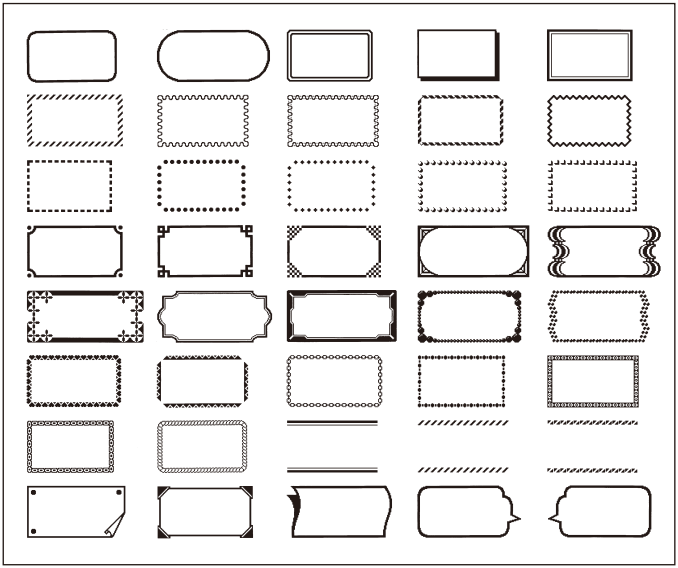
●公共

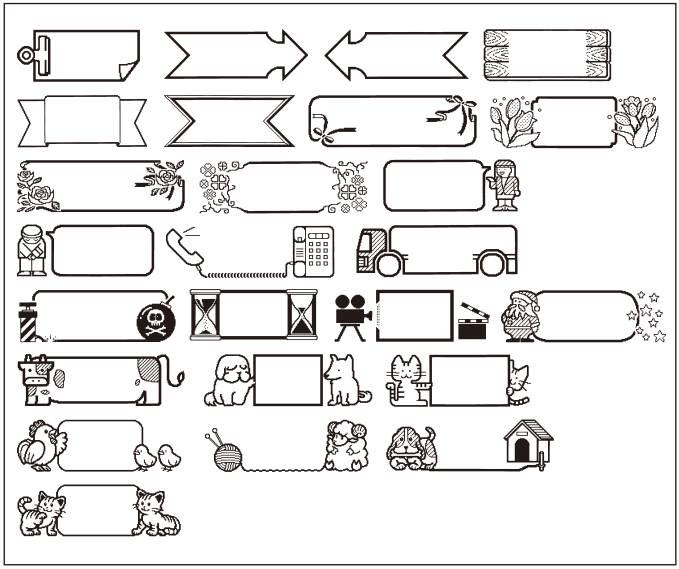


●全部

「オフィス」から「公共」までの絵文字すべてが入ります。表示される順番は多少変わります。

フレーム一覧

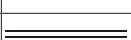
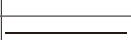
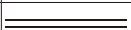
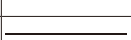


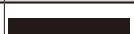


用途別ラベルフォーマット一覧

お使いになるテープカートリッジの幅によって、フォーマットの表示が異なることがあります（入力項目が異なることはありません）。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅				
						18	12	9	6	3.5
名前（18種類）	一般（65㎜長）	横	大１		こうもく、なまえ	○	○	○	−	−
		横	大２		なまえ、こうもく					
		横	大３		なまえ、こうもく１～２					
	一般（45㎜長）	横	小１		こうもく、なまえ	○	○	○	−	−
		横	小２		なまえ、こうもく					
		横	小３		なまえ、こうもく１～２					
	子供（80㎜長）	横	大１		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	−	−
		横	大２		ねん・くみ、なまえ					
		横	大３		がっこう、ねん・くみ、なまえ					
		横	大４		がっこう、ねん・くみ、なまえ					
	子供（50㎜長）	横	小１		ねん・くみ、なまえ	○	○	○	−	−
		横	小２		ねん・くみ、なまえ					
		横	小３		がっこう、ねん・くみ、なまえ					
		横	小４		がっこう、ねん・くみ、なまえ					

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅				
						18	12	9	6	3.5
名前（18種類）	ふりがな付（80㎜長）	横	大1		ふりがな、なまえ	○	○	○	—	—
		横	大2		ねん・くみ、ふりがな、なまえ					
	ふりがな付（50㎜長）	横	小1		ふりがな、なまえ	○	○	○	—	—
		横	小2		ねん・くみ、ふりがな、なまえ					
送付（19種類）	封筒（210㎜長）	縦	大1		なまえ	○	○	○	—	—
		縦	大2		じゅうしょ、なまえ					
		縦	大3		じゅうしょ、なまえ					
	封筒（140㎜長）	縦	小1		なまえ	○	○	○	—	—
		縦	小2		じゅうしょ、なまえ					
		縦	小3		じゅうしょ、なまえ					
	はがき（90㎜長）	縦	1		なまえ	○	○	○	—	—
		縦	2		じゅうしょ、なまえ					
		縦	3		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ					
	差出人（65㎜長）	縦	大1		じゅうしょ、なまえ	○	○	○	—	—
		縦	大2		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ					
	差出人（45㎜長）	縦	小1		じゅうしょ、なまえ	○	○	○	—	—
		縦	小2		じゅうしょ1、じゅうしょ2、なまえ					

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅				
						18	12	9	6	3.5
送付（19種類）	のし紙（95㎜長）	縦	大１		こうもく	○	○	○	−	−
		縦	大２		こうもく１～２					
		縦	大３		こうもく１～２					
	のし紙（65㎜長）	縦	小１		こうもく	○	○	○	−	−
		縦	小２		こうもく１～２					
		縦	小３		こうもく１～２					
ファイル（8種類）	ファイル背（180㎜長）	縦	大１		タイトル	○	○	○	−	−
		縦	大２		タイトル コメント					
		縦	大３		ぶんるい、タイトル、 コメント１～３					
	ファイル背（140㎜長）	縦	小１		タイトル	○	○	○	−	−
		縦	小２		タイトル、 コメント					
		縦	小３		ぶんるい、タイトル、 コメント１～３					
	備品管理（70㎜長）	横	1		こうもく１～３	○	○	○	−	−
		横	2		こうもく１～２					

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅				
						18	12	9	6	3.5
CD-R（6種類）	CD-R（114㎜長）	横	1		タイトル	○	○	○	—	—
		横	2		タイトル、コメント					
		横	3		タイトル、コメント１～２					
		横	4		タイトル１～３					
	CD-R背（114㎜長）	横	1		タイトル	—	—	—	○	○
		横	2		タイトル、コメント					
値札（10種類）	総額のみ（70㎜長）	横	大１		コメント、ねだん	○	○	○	—	—
		横	大２		ひんもく、ねだん					
		横	大３		ひんもく１～２、ねだん					
	総額のみ（50㎜長）	横	小１		コメント、ねだん	○	○	○	—	—
		横	小２		ひんもく、ねだん					
		横	小３		ひんもく１～２、ねだん					
	本体併記（70㎜長）	横	大１		ぜいこみ、ほんたい	○	○	○	—	—
		横	大２		ひんもく、ぜいこみ、ほんたい					
	本体併記（50㎜長）	横	小１		ぜいこみ、ほんたい	○	○	○	—	—
		横	小２		ひんもく、ぜいこみ、ほんたい					

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅				
						18	12	9	6	3.5
汎用（12種類）	5.0cm	横	1		タイトル	○	○	○	—	—
		横	2		タイトル、コメント					
		横	3		タイトル、コメント1～2					
		横	4		コメント1～2、タイトル					
	10.0cm	横	1		タイトル	○	○	○	—	—
		横	2		タイトル、コメント					
		横	3		タイトル、コメント1～2					
		横	4		コメント1～2、タイトル					
	15.0cm	横	1		タイトル	○	○	○	—	—
		横	2		タイトル、コメント					
		横	3		タイトル、コメント1～2					
		横	4		コメント1～2、タイトル					

ナンバリングフォーマット一覧

• 3.5mm 幅テープカートリッジはお使いになれません。

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅				
						18	12	9	6	3.5
		横	1		ナンバー	○	○	○	○	–
		横	2		コメント、ナンバー					
		横	3		ナンバー、コメント					
		横	4		コメント1、ナンバー、コメント2					
		横	5		コメント、ナンバー					
		横	6		ナンバー、コメント					

テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大“縦”倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

		3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	取扱説明書参照ページ
最大印刷可能行数	標準フォント	—	1行	1行	2行	3行	49ページ 62ページ
	微小フォント	1行	2行	3行	5行	6行	90ページ
最大“縦”倍率	標準フォント	—	1倍	2倍	3倍	4倍	59ページ
複数行のときの縦倍率の合計	標準フォント	—	—	—	2まで	3まで	49ページ 59ページ 62ページ 90ページ
	微小フォント	—	2まで	3まで	5まで	6まで	

各機能における使用可能テープ幅一覧

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm
フリーラベル	○	○	○	○	○
フレーム	×	○	○	○	○
用途別ラベル※	○	○	○	○	○
ナンバリング印刷	×	○	○	○	○
デザインロゴ	×	×	×	○	○

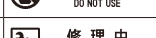
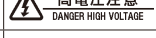
※使用可能なテープ幅はフォーマットによって異なります。詳しくは、用途別ラベルフォーマット一覧（118ページ）をご覧ください。

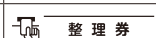
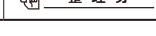
デザインロゴ一覧

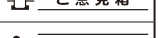
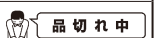
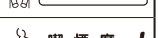
分別（20 種類）		
番号	本体表示名	デザインイメージ
1	燃えるゴミ	燃えるゴミ
2	燃えないゴミ	燃えないゴミ
3	可燃物	可燃物
4	不燃物	不燃物
5	あき缶	あき缶
6	あきビン	あきビン
7	アルミ缶	アルミ缶
8	スチール缶	スチール缶
9	ペットボトル	ペットボトル
10	紙類	紙　類
11	新聞・雑誌	新聞・雑誌
12	ダンボール	ダンボール
13	発泡スチロール	発泡スチロール
14	乾電池	乾電池
15	プラ製容器包装	プラ製容器包装
16	スプレー缶	スプレー缶

分別（20 種類）		
番号	本体表示名	デザインイメージ
17	紙パック	紙パック
18	再生可	再生可
19	再生不可	再生不可
20	食品トレー	食品トレー

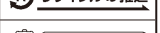
注意（21 種類）		
番号	本体表示名	デザインイメージ
1	立入禁止	立入禁止 DO NOT ENTER
2	火気厳禁	火気厳禁 FLAMMABLE
3	土足厳禁	土足厳禁 NO STREET SHOES
4	開放厳禁	開放厳禁 DO NOT LEAVE DOOR OPEN
5	禁煙	禁煙 NO SMOKING
6	飲食禁止	飲食禁止 NO EATING OR DRINKING
7	携帯使用禁止	携帯使用禁止 NO MOBILE PHONES
8	作業中	作業中 WORK IN PROGRESS
9	喫煙所	喫煙所 SMOKING AREA
10	安全第一	安全第一 SAFETY FIRST

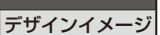
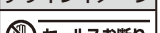
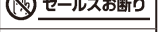
注意（21 種類）		
番号	本体表示名	デザインイメージ
11	危険	
12	開閉注意	
13	故障	
14	撮影禁止	
15	使用禁止	
16	修理中	
17	高温注意	
18	高電圧注意	
19	危険物注意	
20	巻込まれ注意	
21	はさまれ注意	

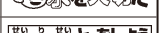
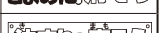
案内（11 種類）		
番号	本体表示名	デザインイメージ
1	会計	
2	相談窓口	
3	整理券	

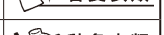
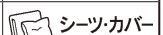
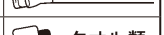
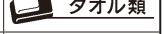
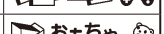
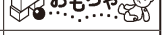
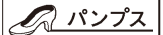
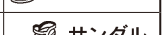
案内（11 種類）		
番号	本体表示名	デザインイメージ
4	ご意見箱	
5	ご自由にどうぞ	
6	不要レシート入れ	
7	係員呼び出し	
8	品切れ中	
9	喫煙席	
10	禁煙席	
11	お水はセルフサービス	

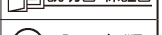
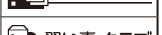
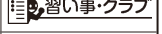
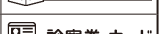
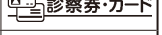
標語（11 種類）		
番号	本体表示名	デザインイメージ
1	もう一度確認	
2	4S 運動実施中	
3	5S 運動実施中	
4	クリーンな職場	
5	環境にやさしく	
6	温暖化防止	

標語（11種類）		
番号	本体表示名	デザインイメージ
7	リサイクルの推進	
8	水資源を大切に	
9	資源の節約	
10	いつも安全運転	
11	やめよう飲酒運転	

防犯（5種類）		
番号	本体表示名	デザインイメージ
1	セールスお断り	
2	チラシお断り	
3	防犯カメラ設置	
4	ピッキング対策済	
5	猛犬注意	

生活（12種類）		
番号	本体表示名	デザインイメージ
1	手を洗おう！	
2	歯を大切に	
3	かぜに注意	
4	水を大切に	
5	整理整とんをしよう	
6	物を大切に	
7	こまめに消そう	
8	決まりを守ろう	
9	最後までやりぬこう	
10	あいさつをしよう	
11	体をきたえよう	
12	健康に気をつけよう	

収納（10種類）		
番号	本体表示名	デザインイメージ
1	春夏衣類	
2	秋冬衣類	
3	シーツ・カバー	
4	タオル類	
5	ゲームソフト	
6	おもちゃ	
7	パンプス	
8	サンダル	
9	フォーマル	
10	スポーツシューズ	

書類（10種類）		
番号	本体表示名	デザインイメージ
1	説明書保証書	
2	重要書類	
3	学校書類	
4	習い事・クラブ	
5	カタログ・クーポン	
6	診察券・カード	
7	折曲厳禁	
8	写真在中	
9	AIR MAIL	
10	取扱注意！	

仕様

形式　：KL-HD1

入力

キー配列　：かな英めくり配列
入力方法　：かな・英字：めくり入力／数字：ダイレクト入力
変換方式　：熟語変換・単漢字変換

辞書

内蔵辞書数：熟語変換　約 88,000 語
単漢字変換　約 13,000 語

文字種

5,720 文字
漢字：4,166 文字（JIS 第 1 水準：2,965 文字／ JIS 第 2 水準：1,201 文字）
ひらがな：83 文字／カタカナ：86 文字／数字：10 文字／
アルファベット：52 文字／ギリシア文字：48 文字／
ロシア文字：66 文字／記号：424 文字／絵文字：785 文字

表示

液晶表示　：96 × 32 ドット+シンボル（6 桁 ×2 行）
入力部分　：6 桁× 1 行
表示文字構成：16 × 16 ドット
8 × 16 ドット（メニュー・メッセージ専用）
8 × 8 ドット（メニュー・メッセージ専用）

印刷

印字密度　：200dpi
印刷方式　：熱転写方式
印字速度　：最大約 10mm/ 秒
•印字速度は使用する電池、印字環境、条件等により異なります。
最大印刷幅：約 12mm
a）2mm（テープ幅 3.5mm）
b）4mm（テープ幅 6mm）
c）7mm（テープ幅 9mm）
d）10mm（テープ幅 12mm）
e）12mm（テープ幅 18mm）

文字構成　：ビットマップフォント
書　　体　：和文書体
　　明朝体※、ゴシック体※
　　かな・英数書体
　　明朝体※、ゴシック体※、ボンジュール、メロディ、
　　パレット、プロデュース
※この書体は、（財）日本規格協会と使用許諾契約を締結して使用しているものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。
フォントとして無断複製することは禁止されています。
　　平成明朝体 TMW8、平成角ゴシック体 TMW5
印刷方向　：横書き・縦書き・裏書き
印刷文字体：標準・太字・白抜・影付・立体
印字行数　：3.5mm 幅テープ使用時　1 行印刷可能
　　6mm 幅テープ使用時　1 ～ 2 行印刷可能
　　9mm 幅テープ使用時　1 ～ 3 行印刷可能
　　12mm 幅テープ使用時　1 ～ 5 行印刷可能
　　18mm 幅テープ使用時　1 ～ 6 行印刷可能

内部記憶

文字編集用の記憶　：フォーマットごとに設定
　　（フリーラベルでは 127 文字）
文字登録用の記憶　：各機能共通で 10 件
単漢字変換学習　：約 10 語

登録

文字編集用記憶エリア一括登録（上書き）

電源・その他

動作用電源：単３形アルカリ乾電池（6 本・市販品）
単３形 eneloop（6 本・市販品）
単３形充電式 EVOLTA（6 本・市販品）
定格電圧　：DC9V
定格消費電流　　：1A(9W)
オートパワーオフ　：約 6 分
大きさ　　：幅 112mm ×奥行 202mm ×高さ 60mm
質量　　：約 365g（電池除く）
使用温度　：10℃～ 35℃

別売品について

本機でご使用になれるテープ幅は、3.5mm・6mm・9mm・12mm・18mm です。
別売品のテープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。また、別売品のテープカートリッジの最新情報やネームランド新製品情報については、以下の URL をご確認ください。
https://casio.jp/d-stationery/

● クリーニングテープ
XR-18CLE
長期間ご使用になると、プリンターヘッドにホコリがたまることがあります。クリーニングテープを使えば、そのホコリ等を取り除くことができ、きれいな文字を印刷できます。

● ネームランド用ハサミ
CU-10
9ミリ幅～18ミリ幅テープのカドを丸くしたり、カット部を波型に仕上げることができます。

- 品切れの際はご容赦ください。
- 別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。

索引

数字

2 行印字…… 49

あ

網掛…… 93
アルファベットの入力…… 80
イメージャー表示…… 50
印刷…… 30
印刷濃度…… 96
印刷プレビュー…… 29
印刷方向…… 51
印字行数…… 49,64,124
印字サイズ…… 59
印字密度…… 129
裏書き…… 51
上書き…… 85,86
英字めくり入力…… 80
英字めくり入力一覧…… 108
絵文字…… 82
絵文字一覧…… 110
エラーメッセージ…… 103
オートパワーオフ…… 17

か

カーソル…… 70
改行…… 50
確定…… 75
各部の名前…… 11
影付…… 91
下線（修飾）…… 93
下線（変換）…… 76
カタカナの入力…… 73
カタカナ変換…… 73
カットマーク…… 31,96
かな漢字混じり文の入力…… 75
かな書体…… 87
かなめくり入力…… 72
かなめくり入力一覧…… 106
画面…… 26
漢字の入力…… 75
キー…… 22
キーのはたらき…… 22
キーボード…… 22
記号一覧…… 110
記号の入力…… 81
輝度（画面）…… 95
行頭…… 70
行末…… 70
均等割付…… 57
クリーニング…… 99
後退…… 83
ゴシック体…… 87,130
ゴムローラー…… 20,98
小文字（促音・拗音）の入力…… 74
こんなときは（トラブルシューティング）… 100

さ

削除（部分）…… 84
削除（文削除）…… 84
削除（文字削除）…… 83
ジャストフィット印刷…… 59
ジャストフィットマーク…… 61
熟語変換…… 75
仕様…… 129
使用できるテープ…… 124
初期化…… 16
初期フォント…… 89
書式…… 51
書体…… 87
白抜…… 91
数字の入力…… 81
スクロール…… 70
設定
　印刷濃度…… 96
　カットマーク…… 96
　輝度調整…… 95
　初期フォント…… 89
　挿入／上書き…… 86
　テープ幅…… 95

電池…… 97
前候補…… 77
全文削除…… 84
挿入…… 85,86

た

縦書印刷…… 65
縦横同時印刷…… 65
単漢字変換…… 78
小さな文字…… 62,90
定型フォーマット…… 37
データの削除…… 69
データの登録…… 67
データの呼び出し…… 68
テープ…… 19
テープ送り…… 32
テープカートリッジ…… 18
テープカートリッジの取り付け…… 18
テープカートリッジの取り外し…… 21
テープガイド…… 19
テープカット…… 32
テープカットボタン…… 11,32
テープ長固定…… 55
テープ出口…… 11
テープの長さ…… 55
テープ幅設定…… 95
テープ幅と行数・倍率一覧…… 124
デザインロゴ…… 45
デザインロゴ一覧…… 125
電源…… 13
電源を入れる…… 17
電源を切る…… 17
電池…… 13,97
電池をセットする…… 13
同音異義語変換…… 77
登録…… 67
トラブルシューティング…… 100

な

長さ指定…… 55
中寄せ…… 57
ナンバリング（通し番号ラベル）…… 41
ナンバリングフォーマット一覧…… 123
入力
　絵文字…… 82
　記号…… 81
　文字…… 71

は

背面カバー…… 11
倍率マーク…… 61
パレット…… 87,130
微小フォント…… 62,90
左寄せ…… 57
表示画面…… 26
ひらがなの入力…… 72
フォーマット…… 37
フォント（書体）…… 87
複数行の印字…… 49
付属品…… 10
太字…… 91
部分削除…… 84
フリーラベル…… 28,48
プリンターヘッド…… 20,98
フレーム…… 63
フレーム一覧…… 116
プレビュー画面…… 29
プロデュース…… 87,130
文削除…… 84
別売品について…… 131
変換
　カタカナ…… 73
　熟語…… 75
　単漢字…… 78
　同音異義語…… 77
方向（印刷方向）…… 51
保証…… 135
ボンジュール…… 87,130

ま

右寄せ…… 57
明朝体…… 87,130
メモリー（登録）…… 67
メモリーの初期化（リセット）…… 16

メロディ…… 87,130
文字間隔…… 51
文字キー…… 24
文字サイズ…… 59
文字削除…… 83
文字修飾…… 93
文字体…… 91
文字の訂正…… 83
文字の入力…… 71
文字倍率…… 61
文字割付…… 51

や

用途別ラベル…… 37
用途別ラベルフォーマット一覧…… 118
余白…… 54

ら

リセット（初期化）…… 16
立体…… 91
連番印刷…… 41

わ

枠付…… 93
和文書体…… 87
割付…… 57